

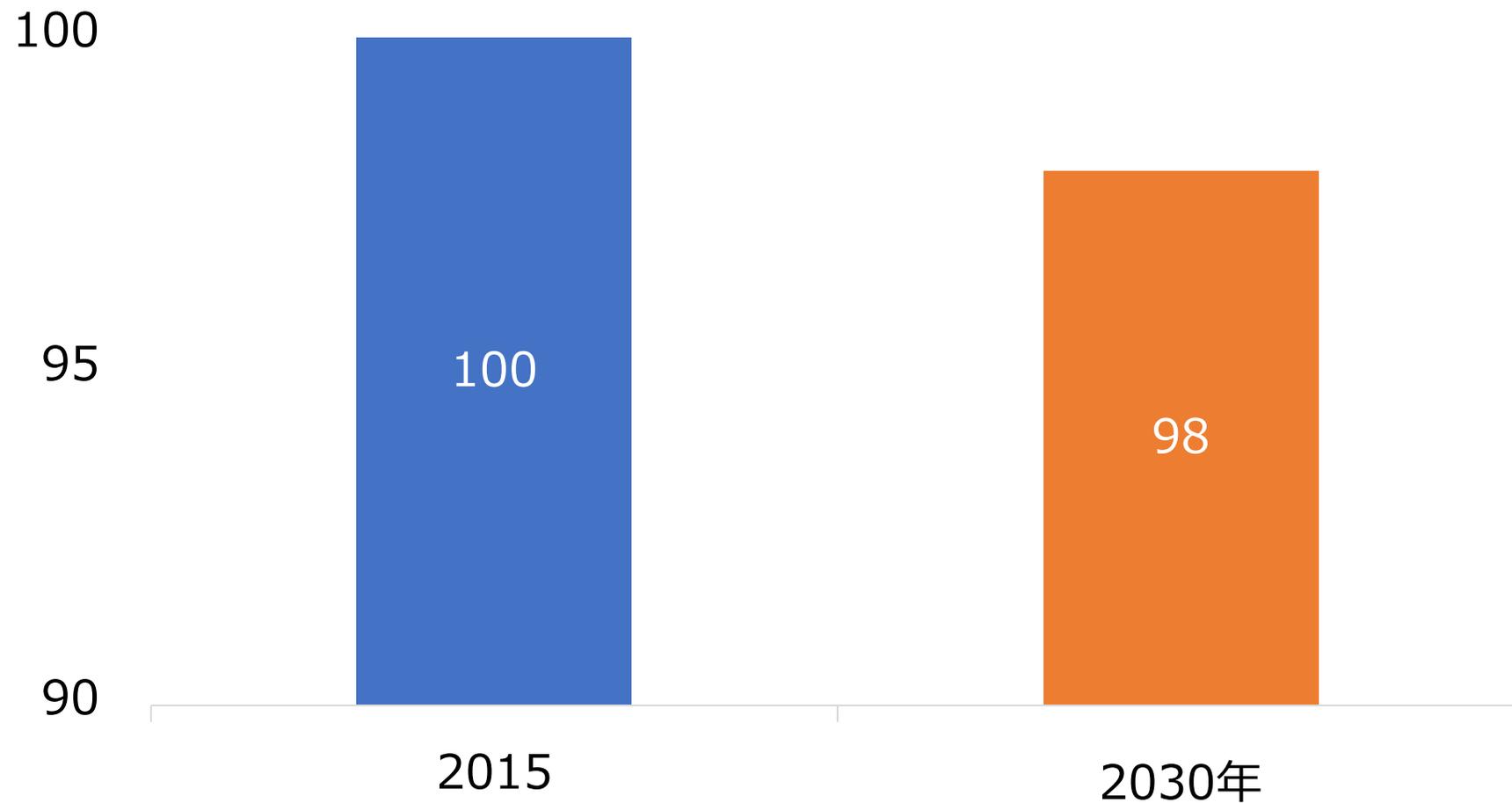
志布志港を活用した 農産物の輸出の促進

今日お話しすること

- ▶ 輸出の促進
- ▶ 志布志港の現状
- ▶ 志布志港の農産物の輸出促進

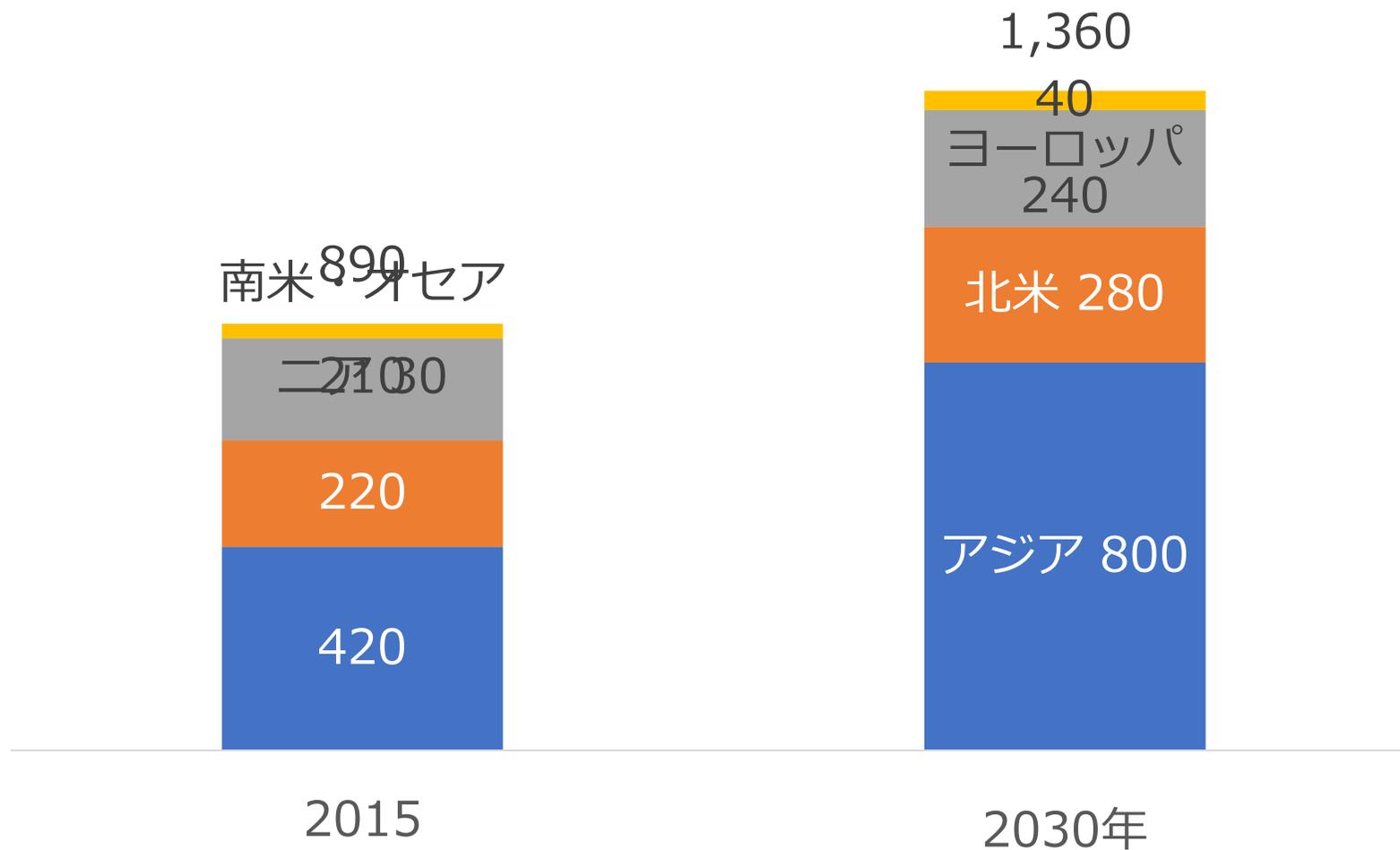
輸出の促進

国内の食料支出は減少（指数）



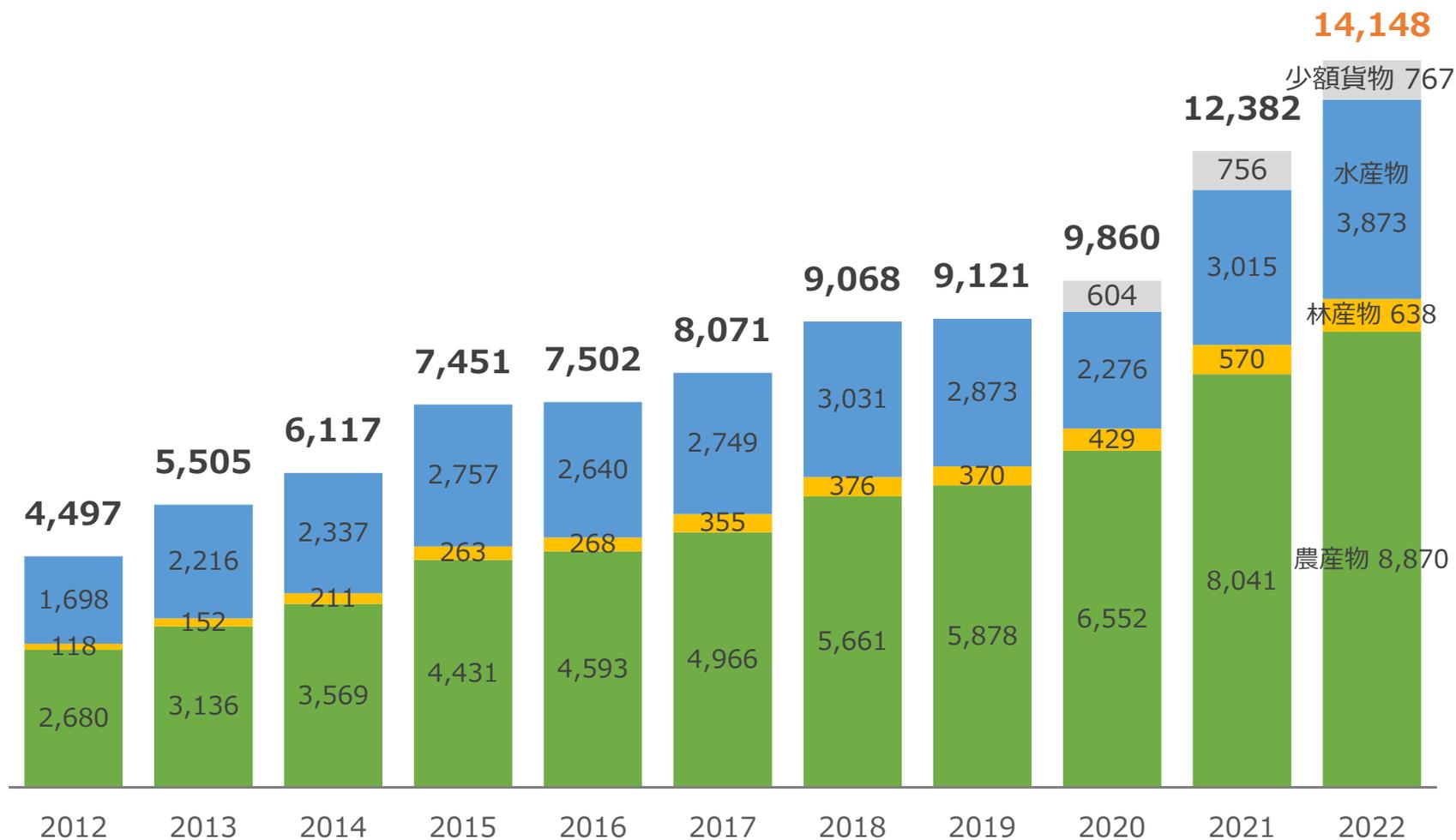
（資料）農林水産政策研究所「我が国の食料消費の将来推計」（2019年8月）

世界の飲食料市場は拡大 (兆円・推計)



(資料) 農林水産政策研究所「世界の飲食料市場規模の推計」(2019年3月)

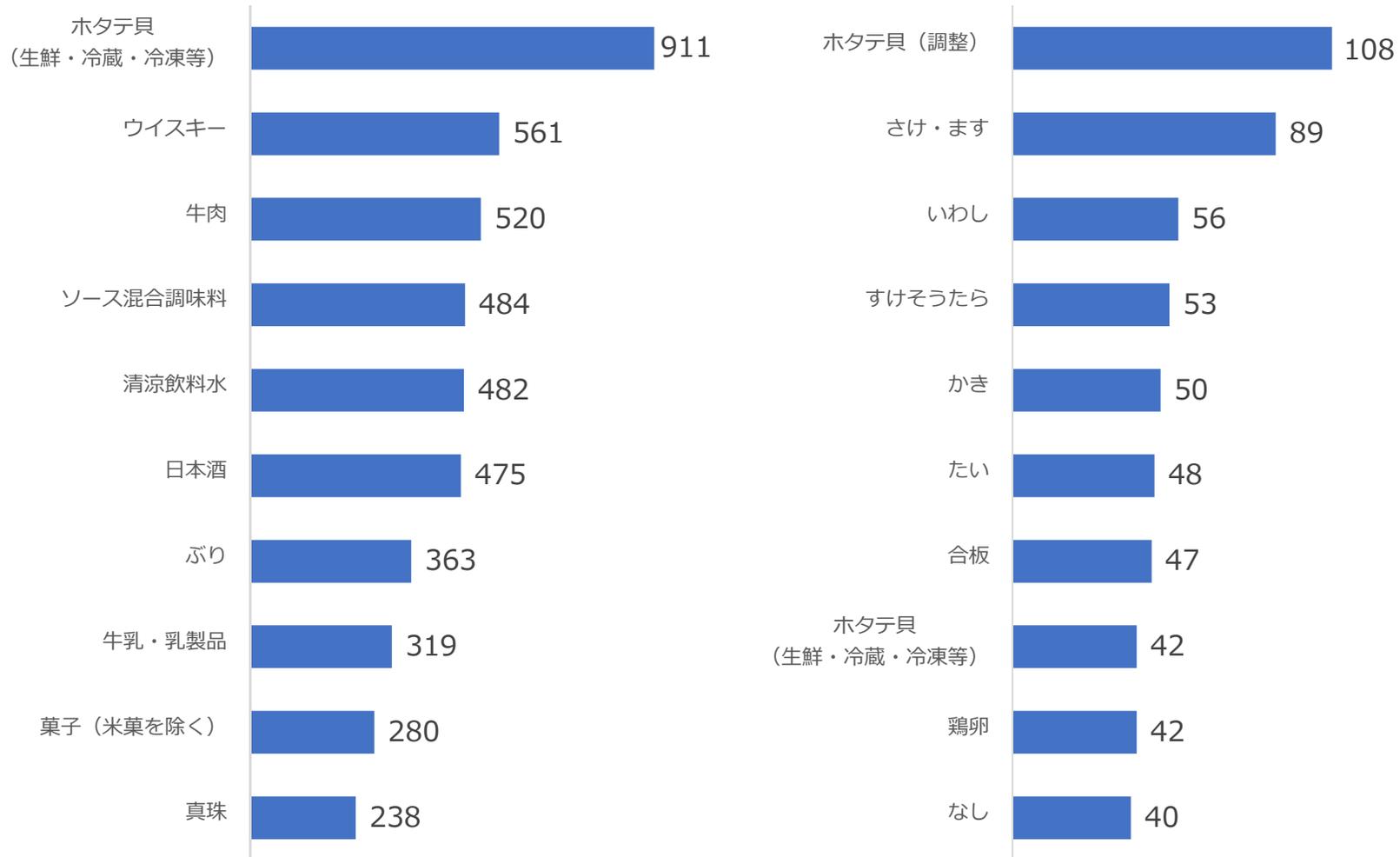
農林水産物・食品の輸出は10年で3倍（億円）



（資料）農林水産省資料から作成

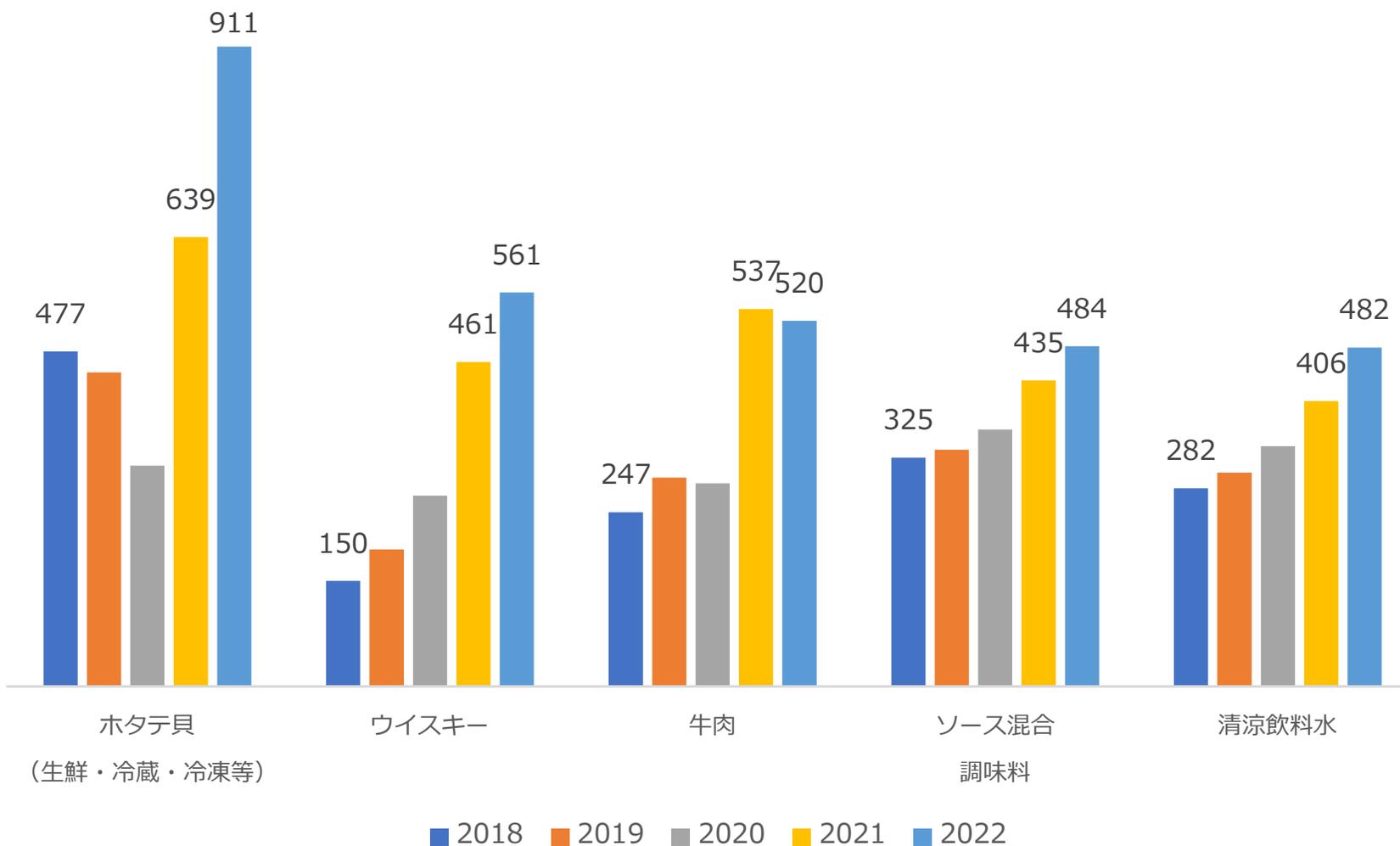
品目別に見ると

(2022年の輸出額 (億円) ・ 対前年同期比 (%))



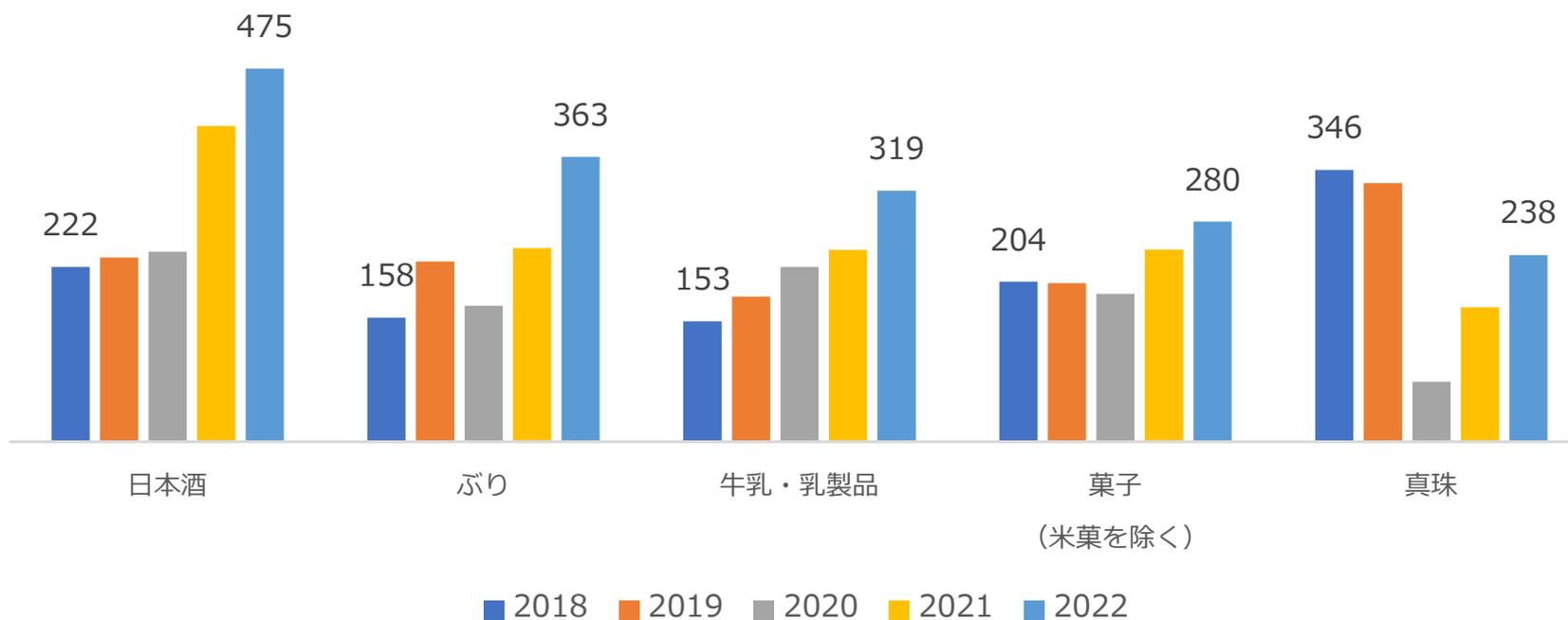
(資料) 農林水産省資料から作成

品目別の動向 1 (億円)



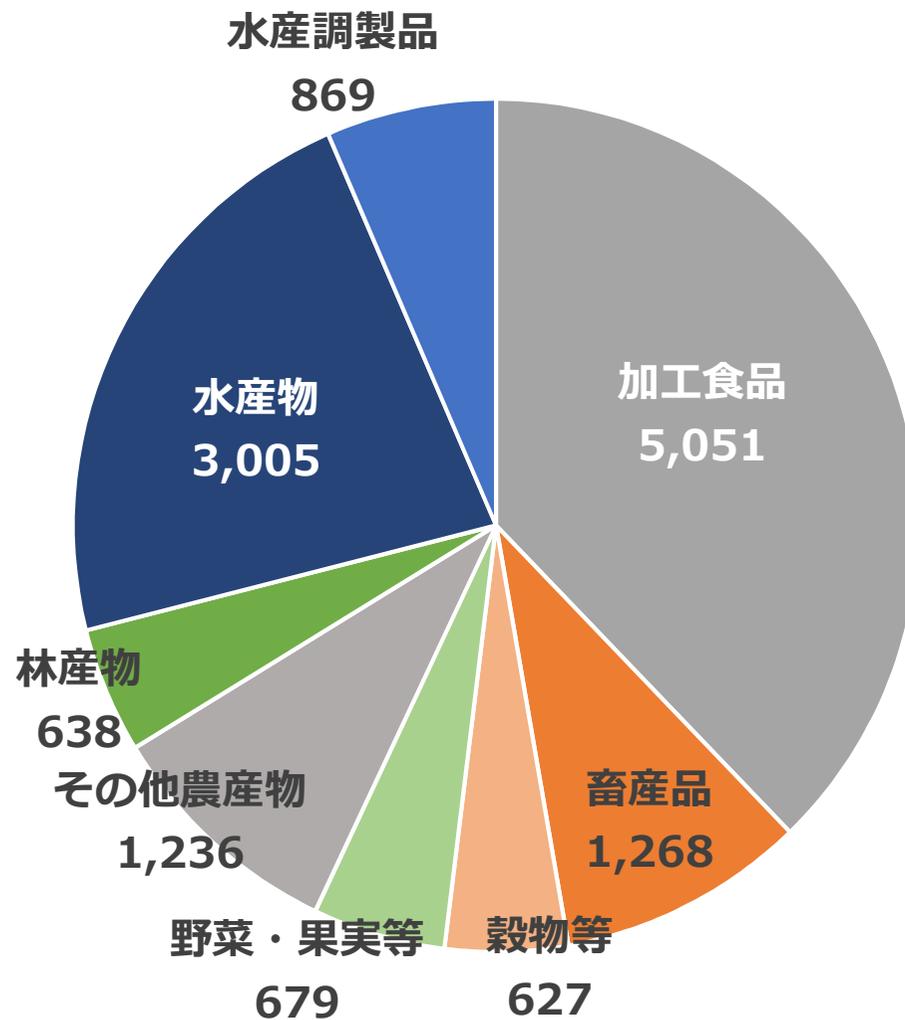
(資料) 農林水産省資料から作成

品目別の動向 2 (億円)



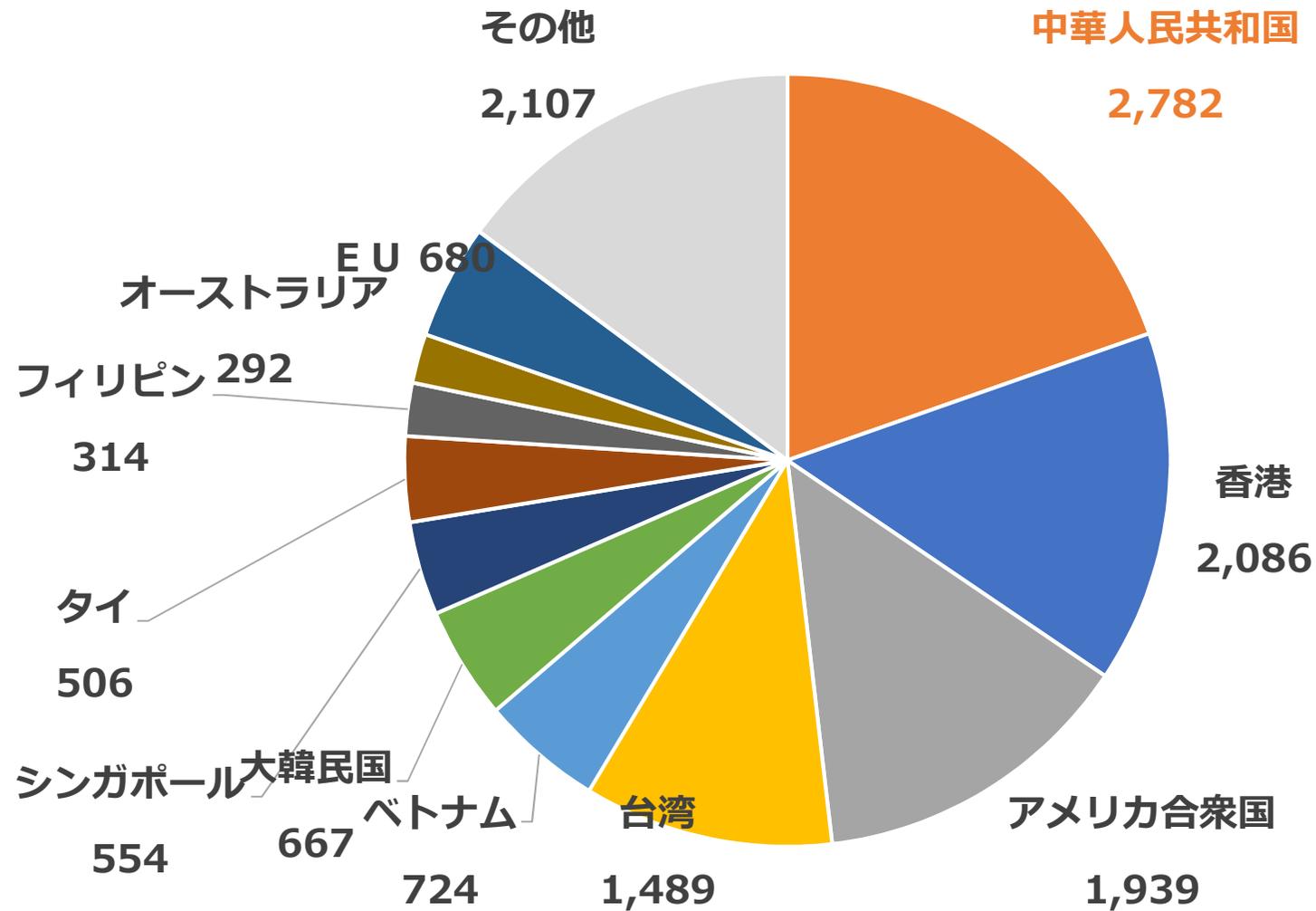
(資料) 農林水産省資料から作成

品目では加工食品が多い (2022年、億円)



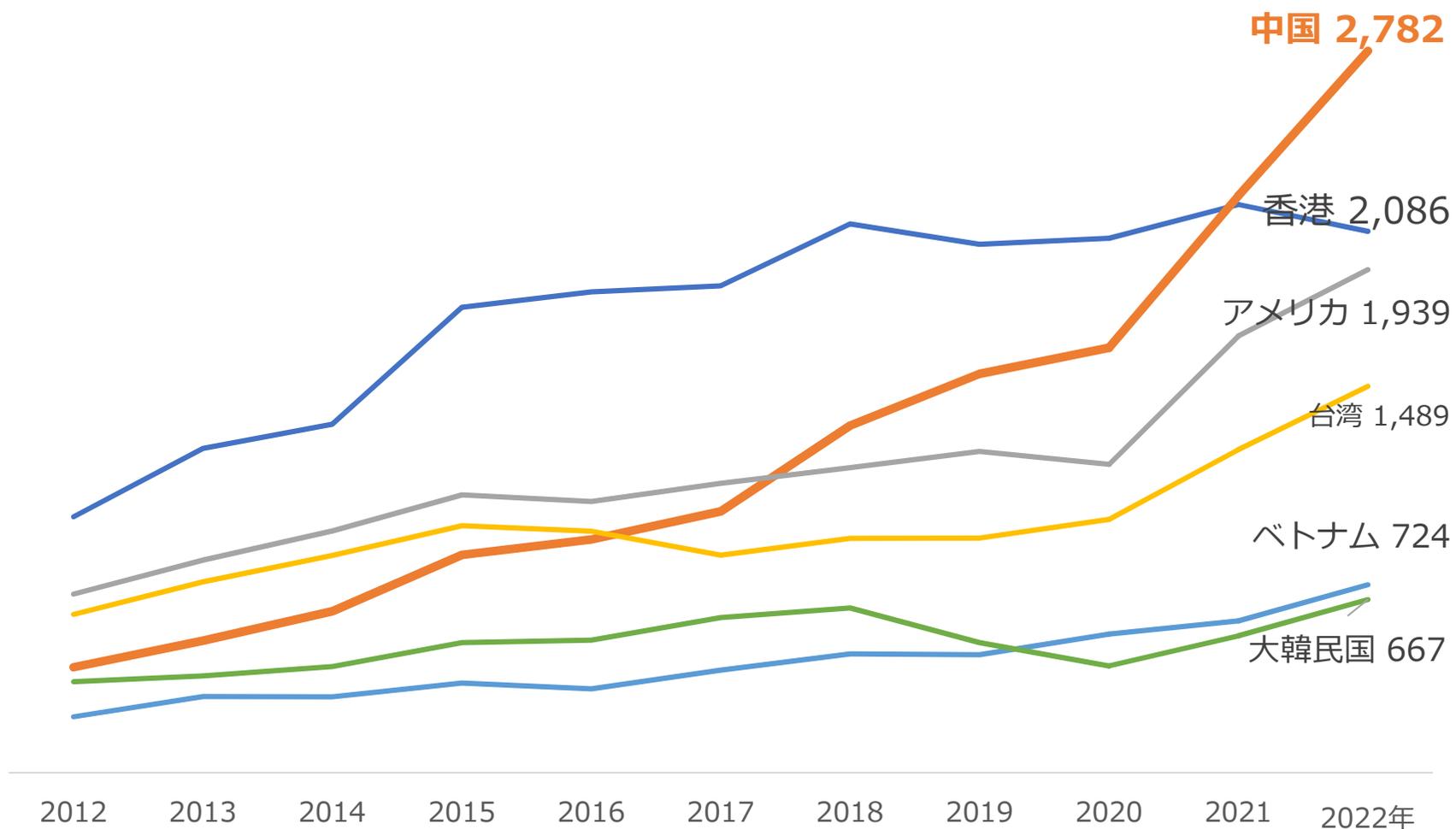
(資料) 財務省「貿易統計」

中国、香港、アメリカ、台湾が多い (2022年、億円)



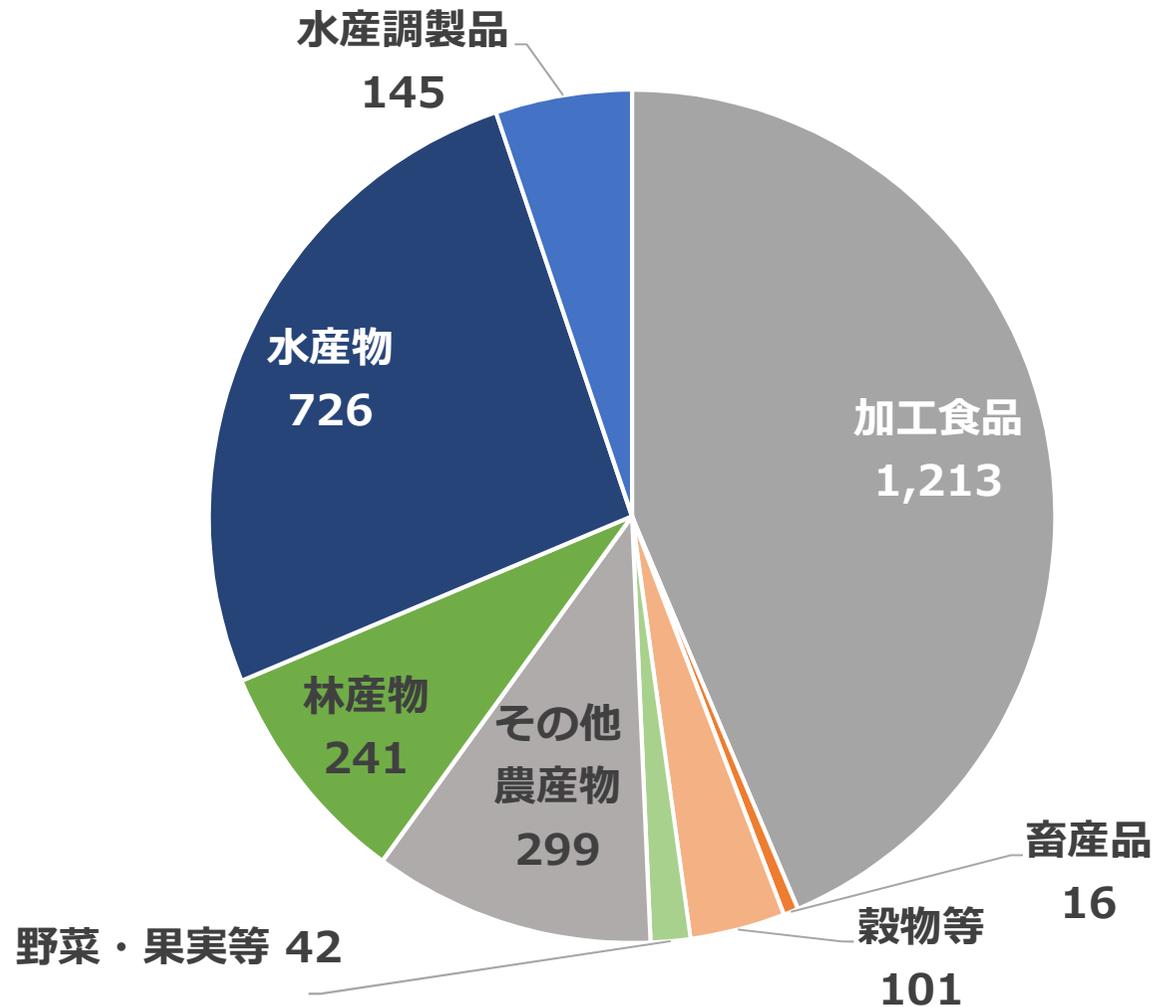
(資料) 財務省「貿易統計」

最近は中国への輸出が急増（億円）



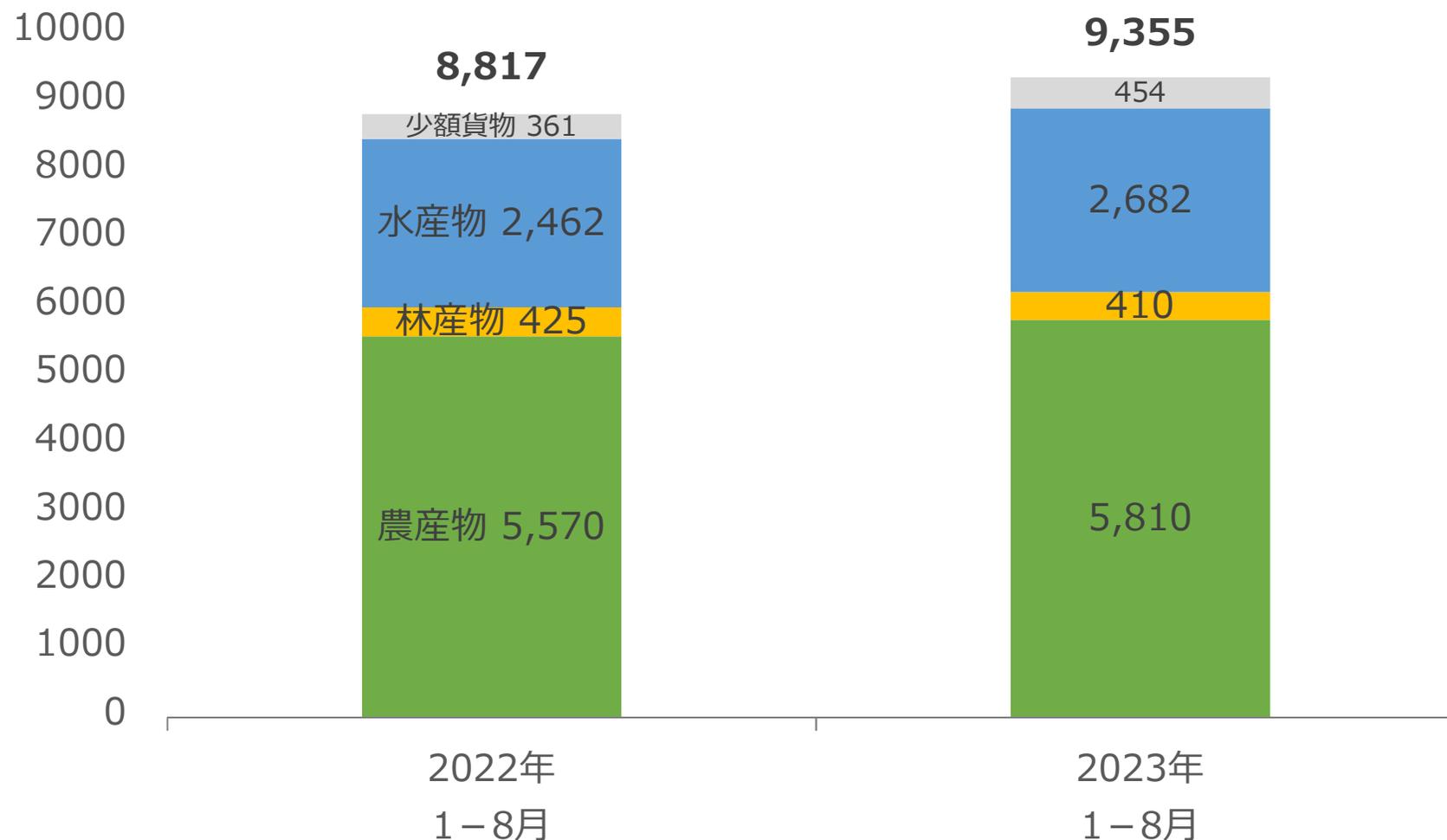
(資料) 農林水産省資料から作成

中国向け農林水産物・食品の輸出額 (2022年、億円)



(資料) 財務省「貿易統計」

2023年も増加しているが (億円)



(資料) 農林水産省資料から作成

「日本水産物の輸入全面停止に関する公告」 (税関総署公告2023年第103号)

- ▶ 日本の福島原発ALPS処理水^(注)の海洋放出による食品の安全性への放射能汚染のリスクを包括的に防止し、中国の消費者の健康を保護し、輸入食品の安全性を確保するため、2023年8月24日から日本原産の水産物（食用水産動物を含む）の輸入を全面停止する

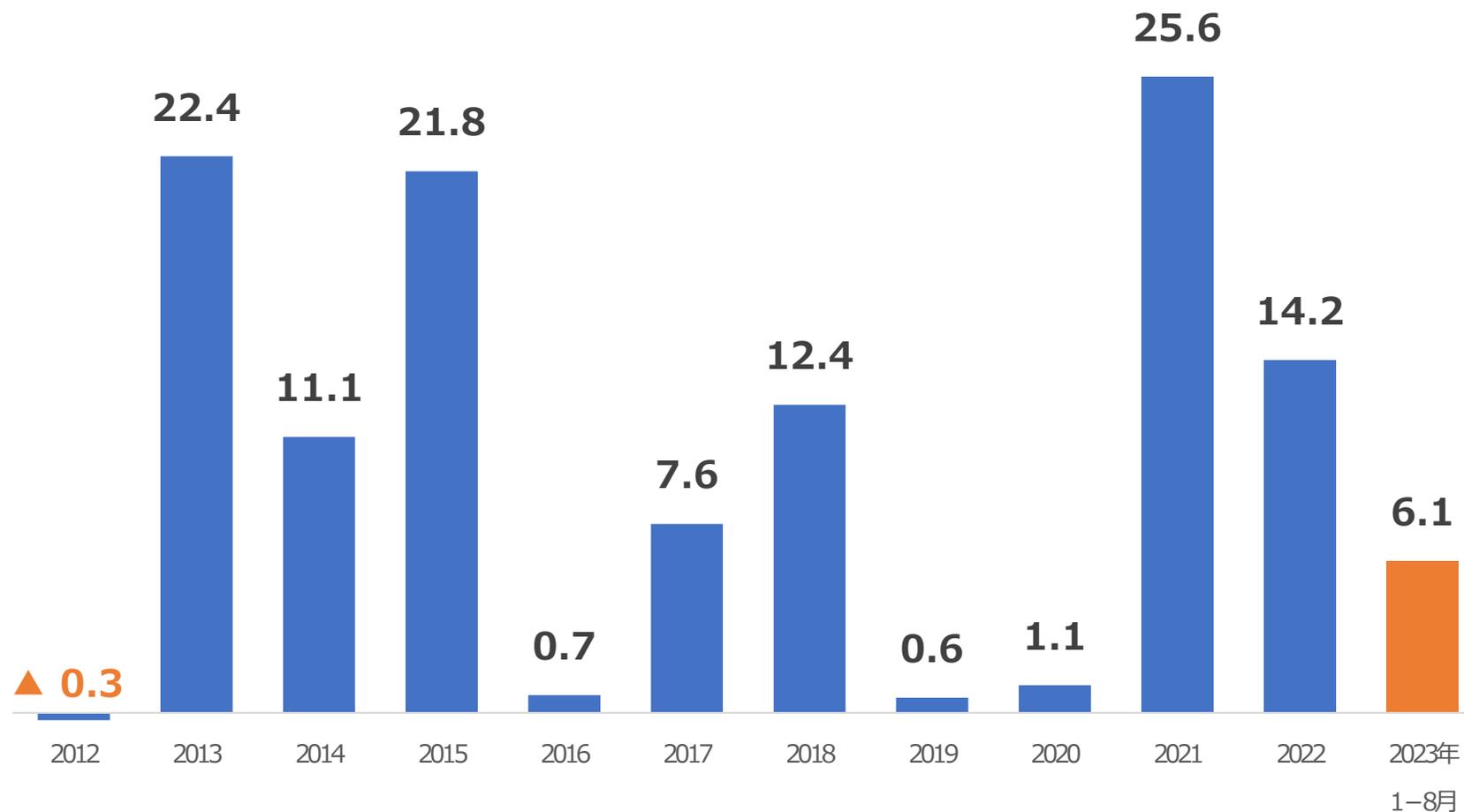
(注) 中国は、汚染水と表現

ロシア政府が公表した規制強化措置内容

(2023年10月16日)

- ▶ 露連邦動植物衛生監督庁は、日本からの水産物の供給に対する中国の制限措置に加わる。
 - ▶ 露連邦動植物衛生監督庁は、予防措置として2023年10月16日からの日本からの魚介類の輸入に対する中国の一時的制限措置に参加する。
 - ▶ 当該制限は、水産物の安全性とユーラシア経済同盟の要求事項への適合を確認するために必要な情報が提供され、露連邦動植物衛生監督庁の専門家によって分析されるまで課されることになる。

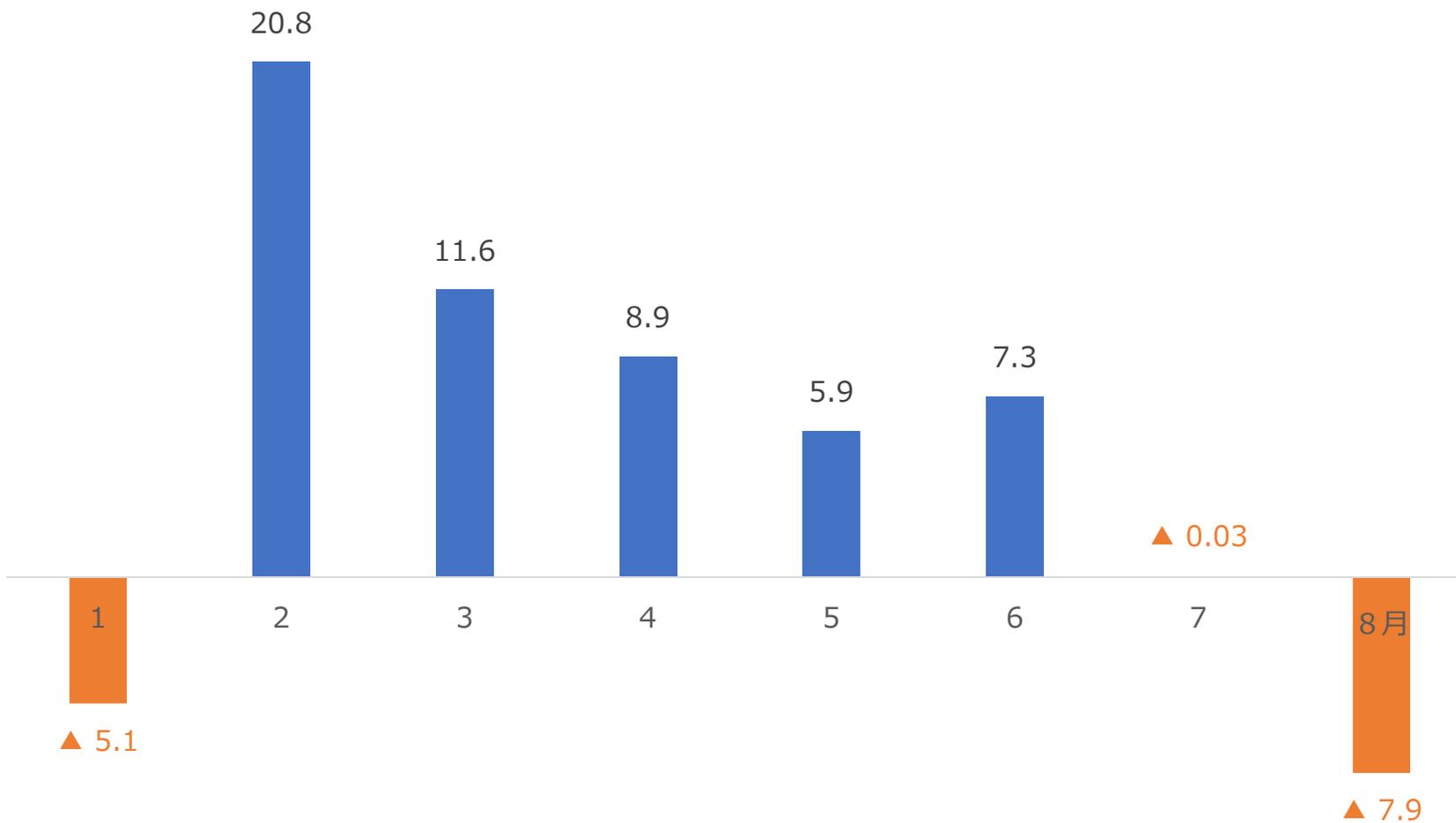
対前年増減率 (%)



(資料) 農林水産省資料から作成

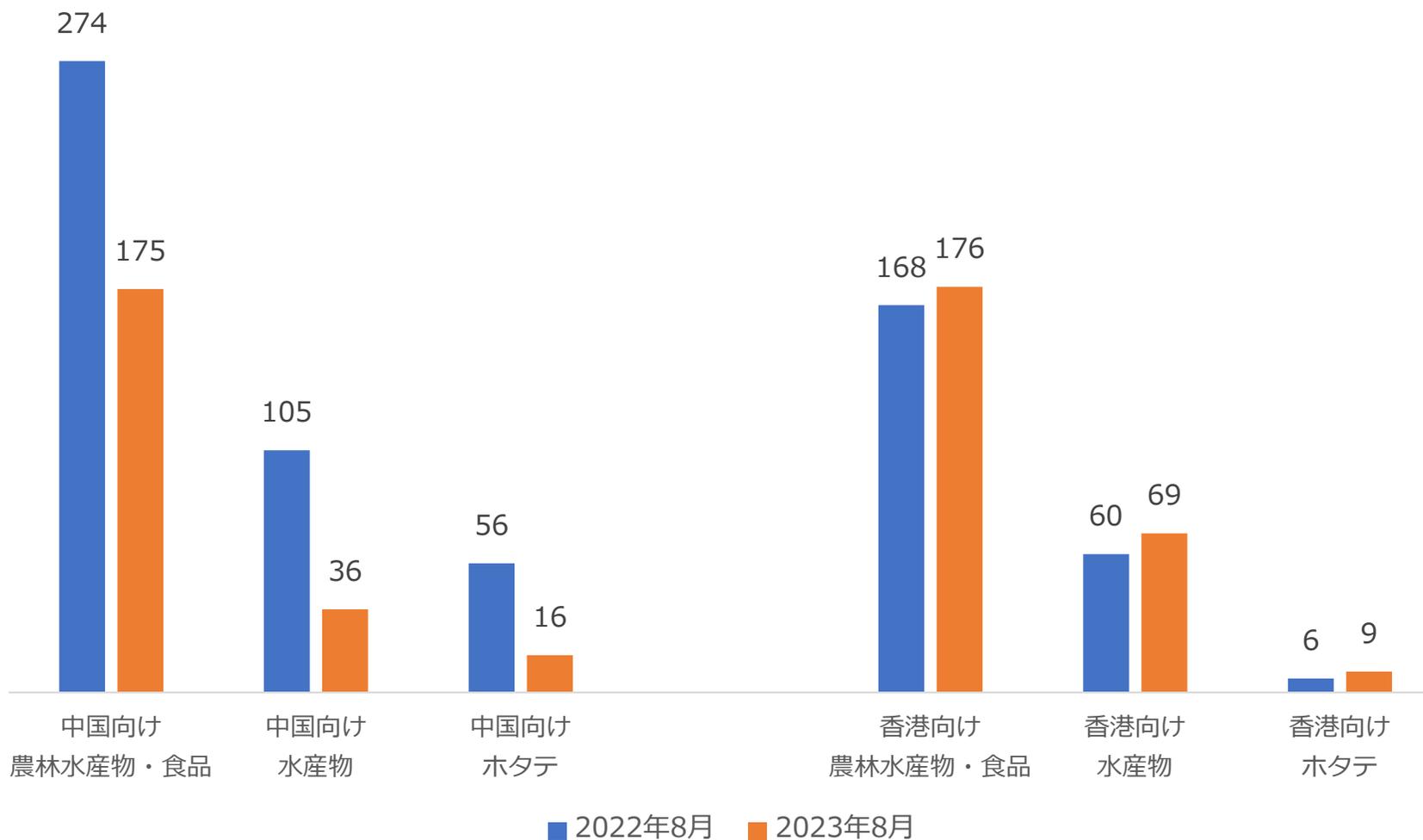
2023年の農林水産物・食品の輸出の伸び

(前年同月比、%)



(資料) 農林水産省資料から作成

中国と香港向けの輸出額の比較（億円）



(資料) 農林水産省資料から作成

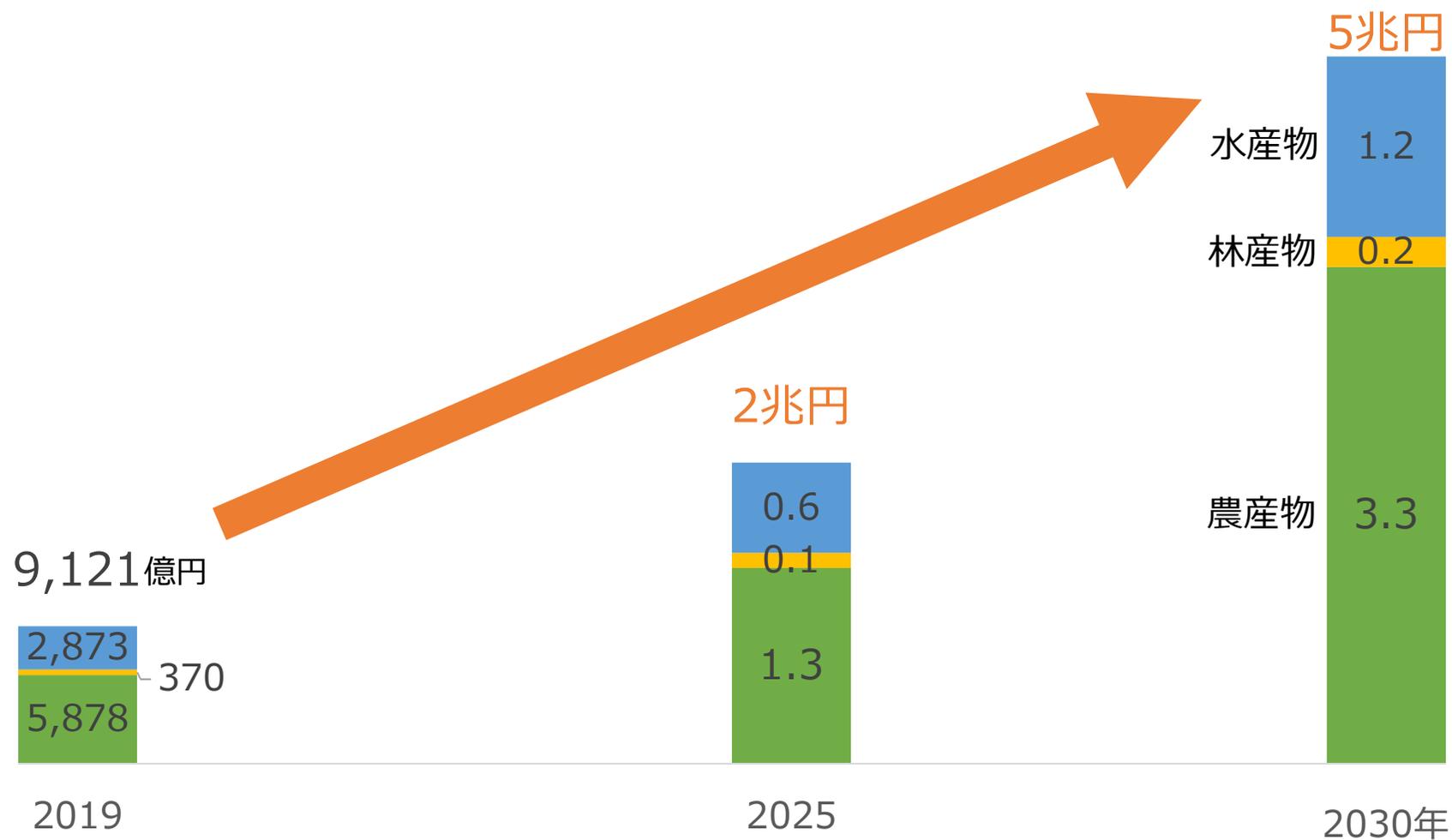
政府の輸出促進政策

- ▶ 2013年12月 農林水産業・地域の活力創造プランの中で、政府の輸出促進政策の方針を策定
- ▶ 2019年 4月 輸入国規制への対応等に関する関係閣僚会議議を設置
- ▶ 2019年11月 農林水産物及び食品の輸出の促進に関する法律が成立
- ▶ 2020年 3月 2030年までに農林水産物・食品の輸出額を5兆円とする目標を設定（食料・農業・農村基本計画）
- ▶ 2022年 5月 輸出促進法を改正
- ▶ 2022年 12月 「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略（2020年12月策定、2021年12月改訂）を再改訂

農林水産物及び食品の輸出の促進に関する法律 (2019年法律第57号)

- ▶ 農林水産省に農林水産物・食品輸出**本部**を設置
- ▶ **基本方針**を定め、**実行計画**の作成、進捗管理
- ▶ **主務大臣、都道府県知事**が輸出証明書の発行、生産区域の指定、加工施設の認定
- ▶ **民間**の登録機関が加工施設の認定も可能、**民間**の検査機関による輸出証明書の発行
- ▶ **債務保証、長期・低利設備資金、運転資金**等
- ▶ 施設等の整備に対する**所得税・法人税の特例**
- ▶ **品目団体の法制化**
- ▶ 輸出事業計画の認定手続等の**ワンストップ化**

農林水産物・食品の輸出額目標は5兆円



農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略 1

(2022年12月改訂) (日本の強みを最大限発揮するための取組)

- ① 輸出重点品目と輸出目標の設定
- ② 目標国・地域、輸出目標、手段の明確化
- ③ 品目団体の組織化とその取組の強化
- ④ 海外における専門的・継続的な支援体制の強化
- ⑤ JETRO・JFOODOと品目団体の連携
- ⑥ 日本食・食文化の情報発信

農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略 2

(2022年12月改訂) (輸出に挑戦する事業者の支援)

- ⑦ 輸出に取り組む事業者への**投資**の支援
- ⑧ **顧客視点**に基づく輸出産地・事業者の育成・展開
- ⑨ 大口ロット・高品質・効率的な輸出に対応可能な**輸出物流**の整備
- ⑩ 輸出向けに生産・流通を転換するフラッグシップ輸出産地の形成
- ⑪ 農林水産・食品事業者の**海外展開**の支援

農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略3

(2022年12月改訂) (政府一体となった輸出の障害の克服)

- ⑫ 輸出先国の**輸入規制**の撤廃
- ⑬ **政府一体**の輸出支援体制の整備
- ⑭ 輸出先国・地域の規制や需要に対応した**加工食品**への支援
- ⑮ **知的財産**対策強化

輸出向けに生産・流通を転換するフラッグシップ 輸出産地の形成

輸出産地	品目	参画
北海道農畜産物・水産物 輸出推進協議会	米、かんしょ、たまねぎ	北海道、ホクレン、JA、JETRO、コンサル等
アスノツガル輸出促進協議会	りんご	(株)日本農業、生産組合、生産法人等
静岡茶輸出拡大協議会	茶	静岡県、経済連、茶生産者、茶商、JETRO等
静岡県かんしょ輸出促進協議会	かんしょ	静岡県、(株)日本農業、農業法人・生産者、資材業者等
新潟県	米、日本酒、錦鯉	新潟県、JA、農業法人、酒造組合、錦鯉団体、輸出商社等
岐阜県農林水産物輸出促進協議会	かき	岐阜県、JA全農岐阜・JA、輸出商社、JETRO等
京都府農林水産物・加工品 輸出促進協議会宇治茶部会	茶	京都府、JA茶業部会、茶生産組合、茶商等
「京の米で京の酒を」推進会議	日本酒	京都府、JA全農京都、酒米生産者、酒造会社等
徳島県	いちご	徳島県、(株)世界市場、農業法人、農薬メーカー等
熊本県	いちご、メロン	熊本県、経済連・JA、輸出商社、資材業者等
みやざき『食と農』海外輸出 促進協議会	きんかん、日向夏、かんしょ	宮崎県、経済連・JA、農業法人、輸出商社等
鹿児島県	かんしょ、きんかん、ぶり・かんぱち	鹿児島県、経済連、農業法人、漁協、輸出商社等

輸出施設は着実に増加

(法第17条に基づく認定件数、2023年9月30日現在)

品目	輸出先国	輸出施設数
牛肉	アメリカ合衆国	15
	EU等 (注1)	11
	タイ	80
	マカオ	77
水産	アメリカ合衆国	573
	EU等 (注1)	112 (注2)
	中国	965
	ベトナム	820

(注) 1 EU等にはイギリス、スイス、ノルウェー、リヒテンシュタイン (牛肉のみ) を含む

2 最終加工施設のみ

九州の牛肉輸出可能施設 (2023年6月6日現在)

	米国	EU	タイ	マカオ
福岡県			3	3
長崎県			2	1
大分県	1		1	1
熊本県	1		3	2
宮崎県	2	1	2	2
鹿児島県	4	4	7	7

(資料) 公益財団法人日本食肉生産技術開発センターホームページ

原発事故による諸外国・地域の食品等の輸入規制 (2023年8月24日現在)

完全に撤廃	48	カナダなど38か国（2011～20） イスラエル、シンガポール、アメリカ合衆国（2021）、イギリス、インドネシア（2022）、EU、アイスランド、ノルウエー、スイス、リヒテンシュタイン（2023）
検査証明書等を要求	2	ロシア、仏領ポリネシア
一部都県等から輸入を停止	5	中華人民共和国、香港、マカオ、大韓民国、台湾

(注) 規制措置の対象となる都道府県や品目は、国・地域によって異なる。

ALPS処理水の海洋放出に伴う諸外国・地域の食品等の輸入停止の概要

全都道府県の水産物を輸入停止	中国・ロシア
10都県の水産物・岩塩・海藻を輸入停止	香港
10都県の生鮮食品・動物性食品・岩塩・海藻を輸入停止	マカオ
日本産水産物の輸入時の検査を強化	タイ、マレーシア

(資料) 農林水産省資料から作成

原発事故に伴い輸入停止措置を講じている国・地域 (2023年8月3日現在)

国・地域	輸出額 (2022年)	順位	輸入停止措置対象県	輸入停止品目
中国	2,782億円	1	宮城、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、長野	食品、飼料
			新潟	米を除く食品、飼料
香港	2,086億円	2	福島	野菜、果物、牛乳、乳飲料、粉乳
台湾	1,489億円	4	福島、茨城、栃木、群馬、千葉	きのこ類、こしあぶら、野生鳥獣肉
			日本国内の出荷制限措置の対象区域	日本国内の出荷制限措置の対象品目
韓国	667億円	6	青森、岩手、宮城、福島、茨城、栃木、群馬、千葉	水産物
			青森、岩手、宮城、山形、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、神奈川、新潟、山梨、長野、静岡	米、大豆、小豆、野菜、果物、原乳、飼料、茶の一部品目
マカオ	億円		福島	野菜、果物、乳製品、食肉・食肉加工品、卵、水産物・水産加工品

(注) 中国は10都県以外の野菜、果実、乳、茶葉等（これらの加工品を含む）について放射性物質検査証明書の添付を求めているが、放射性物質の検査項目が合意されていないため、実質上輸入が認められていない。

志布志港の現状

志布志港の歴史

- ▶ 志布志港は古くから海を糧に栄え、平安時代末期に開かれた大隅、薩摩、日向に誇る広大な荘園・島津荘の唯一の水門（港）として、この地の発展に大きな足跡
- ▶ 海上交易が盛んになった江戸時代には、内外交易でひらけ、「志布志千軒の町」とうたわれるほどの町並みを形成し、活況を呈していた
- ▶ 宮崎県北郷までの志布志線の延長や古江線などが開通し、交通の要衝となり、1936年に**地方港湾に指定**
- ▶ 鹿児島県東部地域の流通拠点港湾として整備が進められ、1969年4月には、国の**重要港湾に指定**

(資料) 国土交通省ホームページ

志布志港の現在①

- ▶ 本港地区、外港地区、若浜地区、新若浜地区の4つの地区で形成
- ▶ 若浜地区は、1987年4月に開港指定。大型船のけい留施設等の整備、大規模な穀物貯蔵施設・配合飼料製造業の関連企業等の立地により、南九州地域の物流拠点として経済発展に大きく寄与
- ▶ 1996年に、九州で唯一中核国際港湾に位置付けられ、外港地区にガントリークレーン、くん蒸上屋、リーフアーコンセントといった施設の整備をはじめ、税関、出入国管理、検疫のCIQ機能を完備

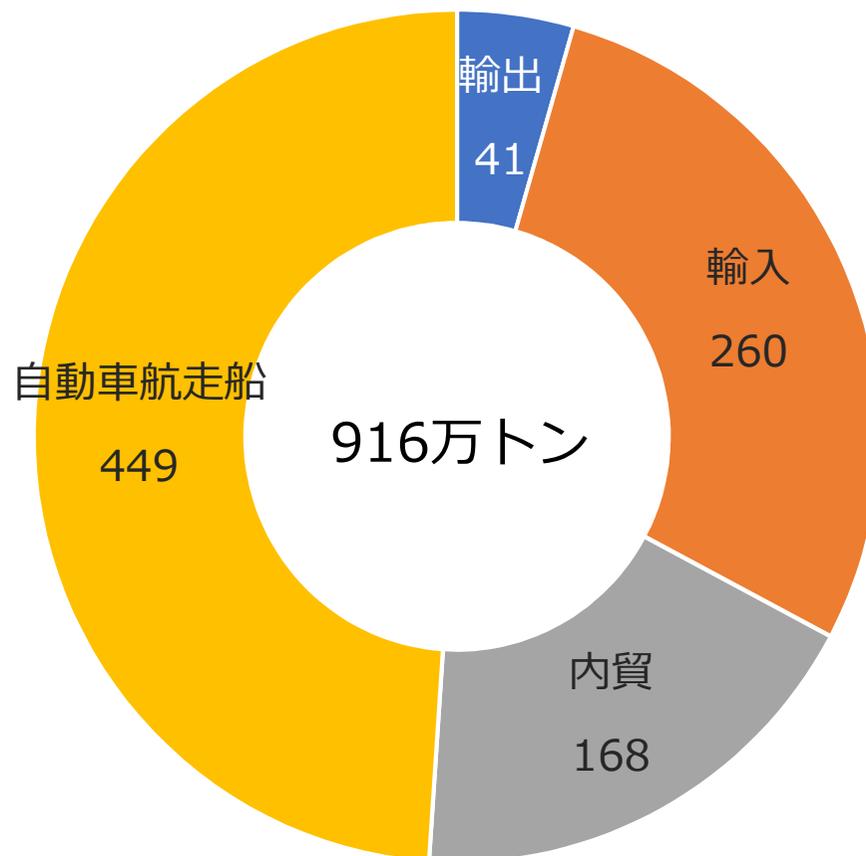
(資料) 国土交通省ホームページ

志布志港の現在②

- ▶ 1997年から、外貿コンテナ貨物等による貨物取扱量の増大等に対応するため、新若浜地区に新たな**国際コンテナターミナル**を整備
- ▶ 2009年3月に、5万トン級の**大型船舶が接岸可能な岸壁**を整備
- ▶ 2011年5月に、大型船の一括大量輸送によるバラ貨物の安価かつ安定的な輸送を実現する拠点港湾「**国際バルク戦略港湾**」に選定

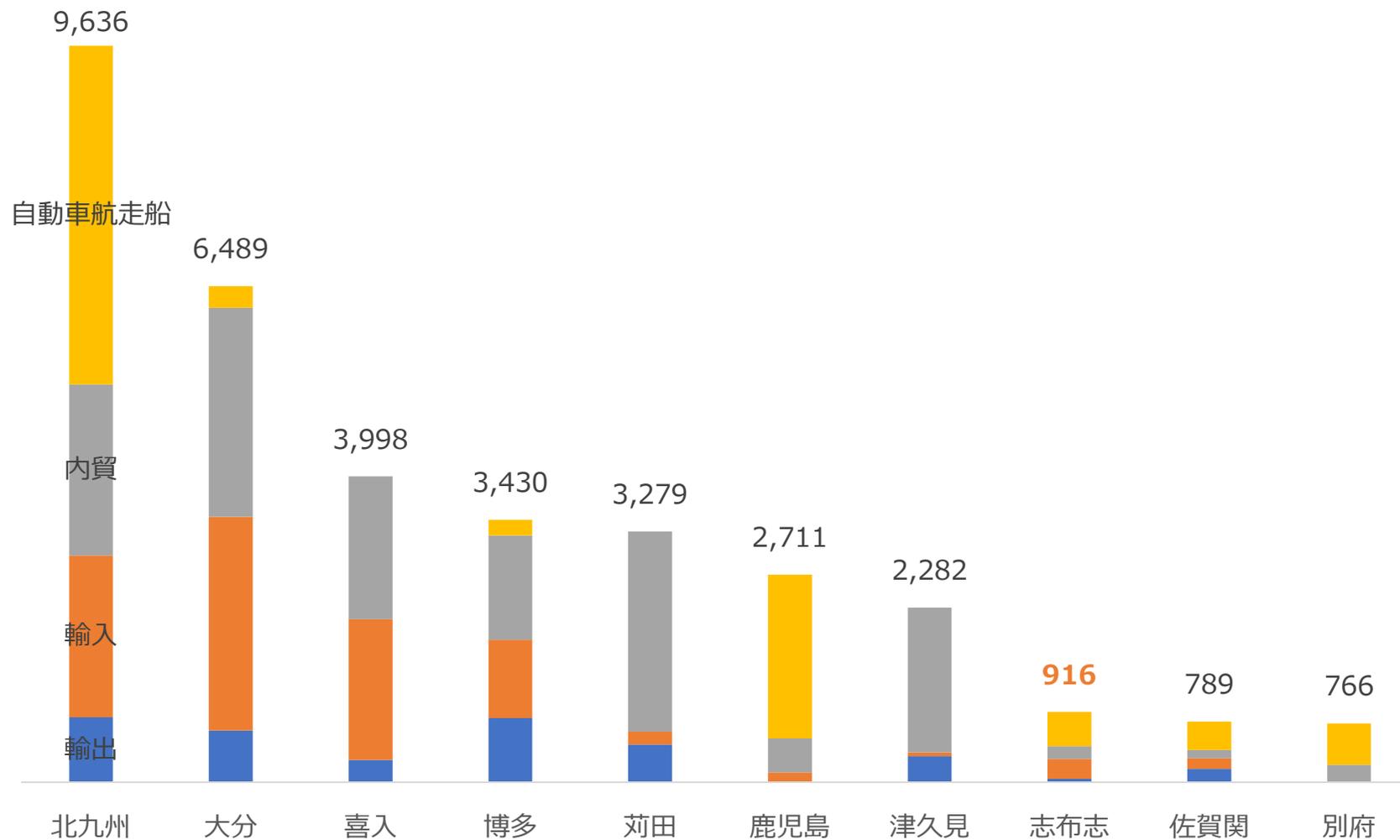
(資料) 国土交通省ホームページ

志布志港の総取扱貨物量 (2021年、万トン)



(資料) 国土交通省「港湾統計」

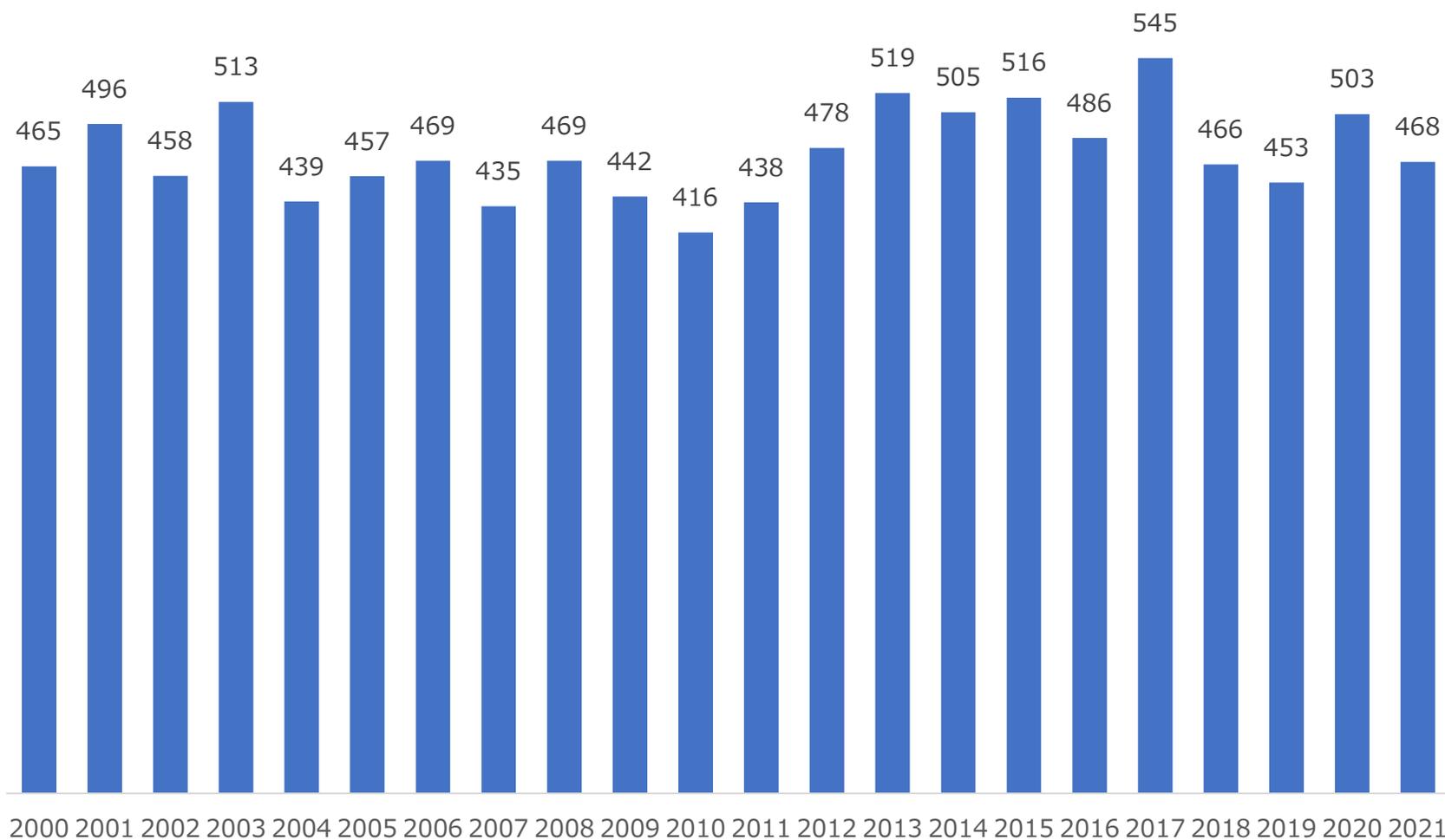
九州の港湾取扱貨物量の順位 (2021年、万トン)



(資料) 国土交通省「港湾統計」

志布志港の取扱貨物量

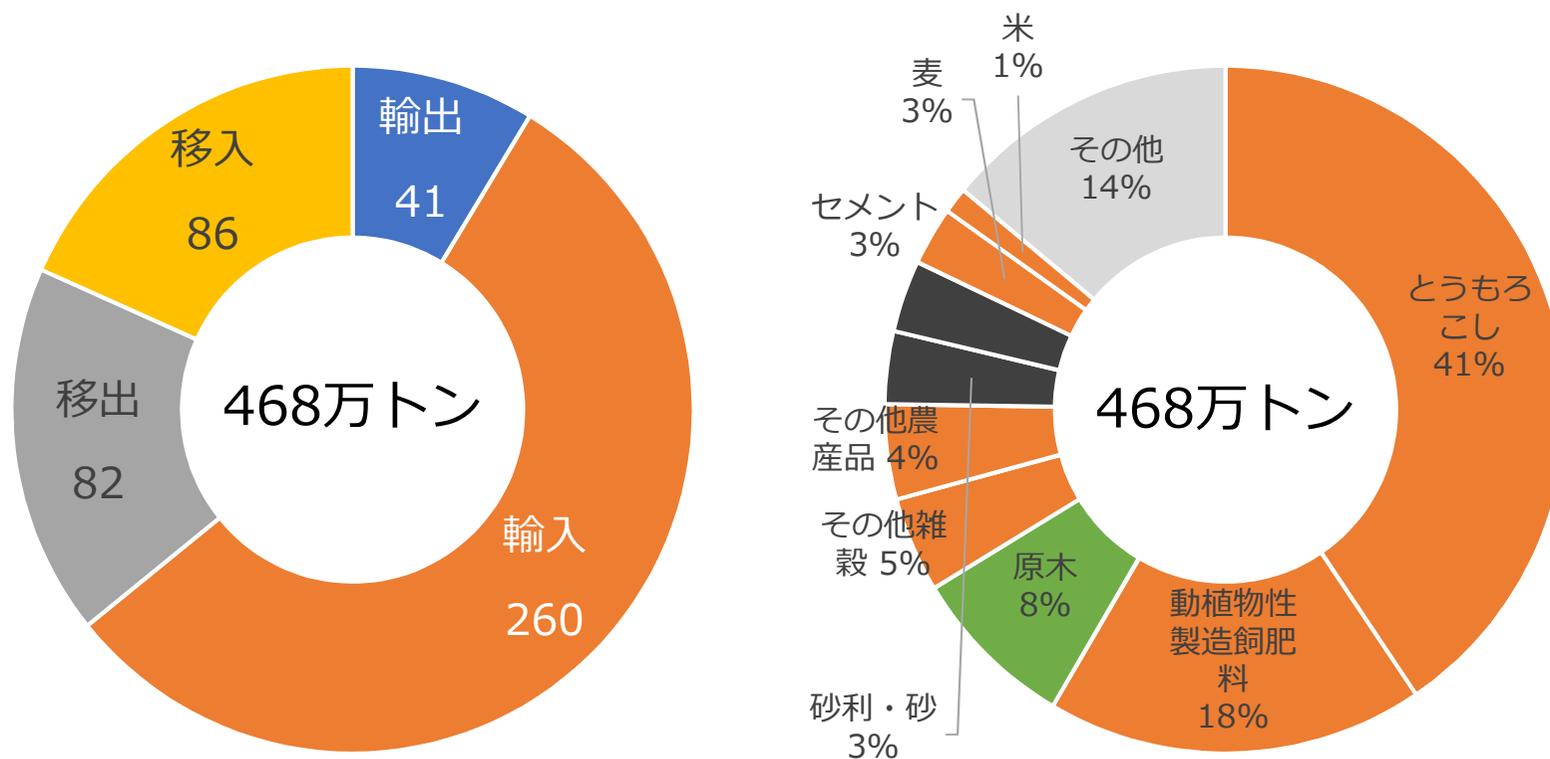
(自動車航送船を除く、万トン)



(資料) 国土交通省「港湾統計」

志布志港の取扱貨物の内訳

(2021年、自動車航送船を除く、万トン、%)



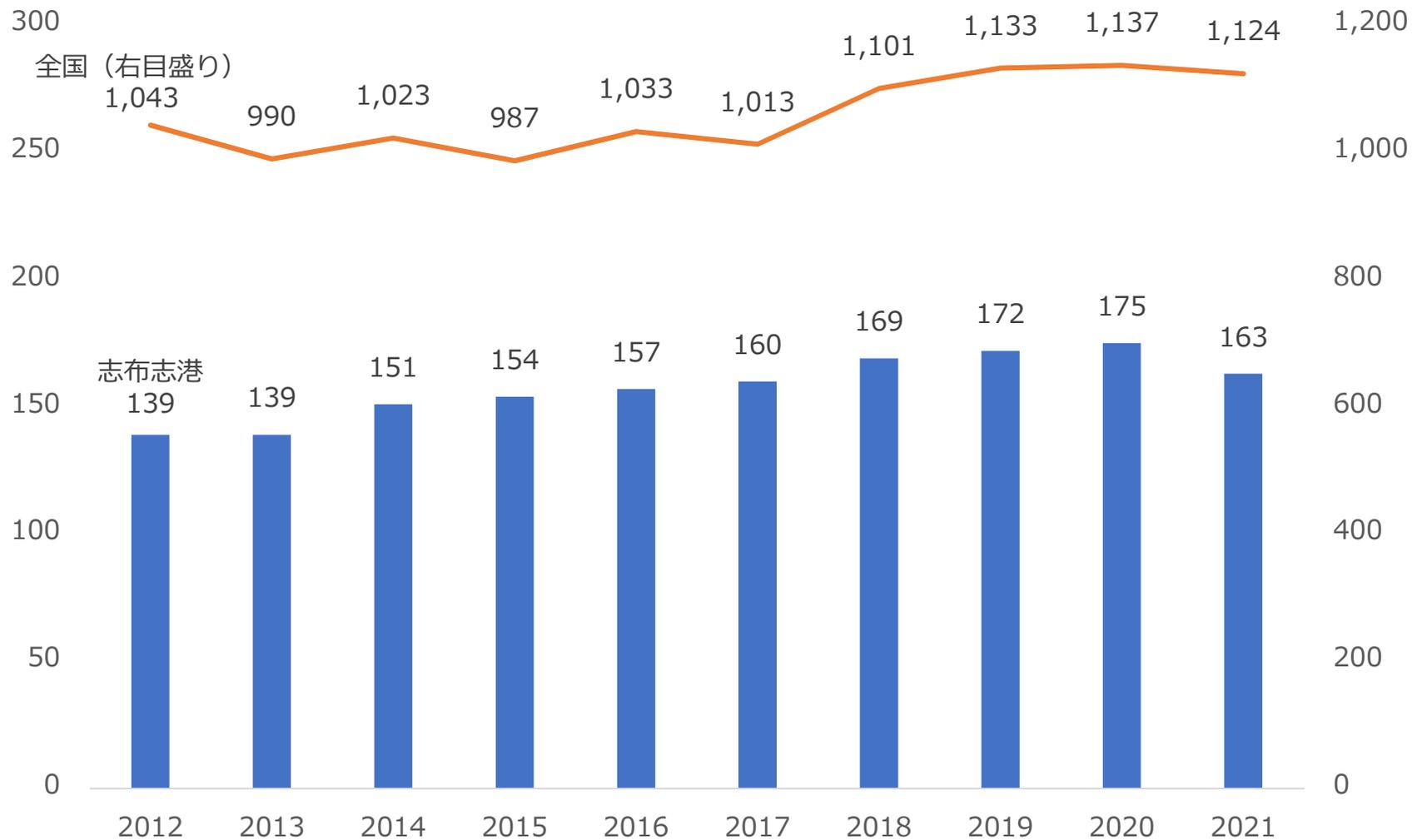
(資料) 国土交通省「港湾統計」

飼料輸入の港湾別ランキング (2021年)

都道府県	港	輸入量 (万トン)	割合 (%)
茨城県	鹿島港	197	18
鹿児島県	志布志港	163	15
岡山県	水島港	106	9
青森県	八戸港	94	8
北海道	釧路港	86	8
愛知県	名古屋港	71	6
鹿児島県	鹿児島港	66	6
北海道	苫小牧港	63	6
宮城県	石巻港	42	4
熊本県	八代港	39	4
全国		1,124	100

(資料) 財務省「貿易統計」

志布志港の飼料用とうもろこしの輸入量 (万トン)



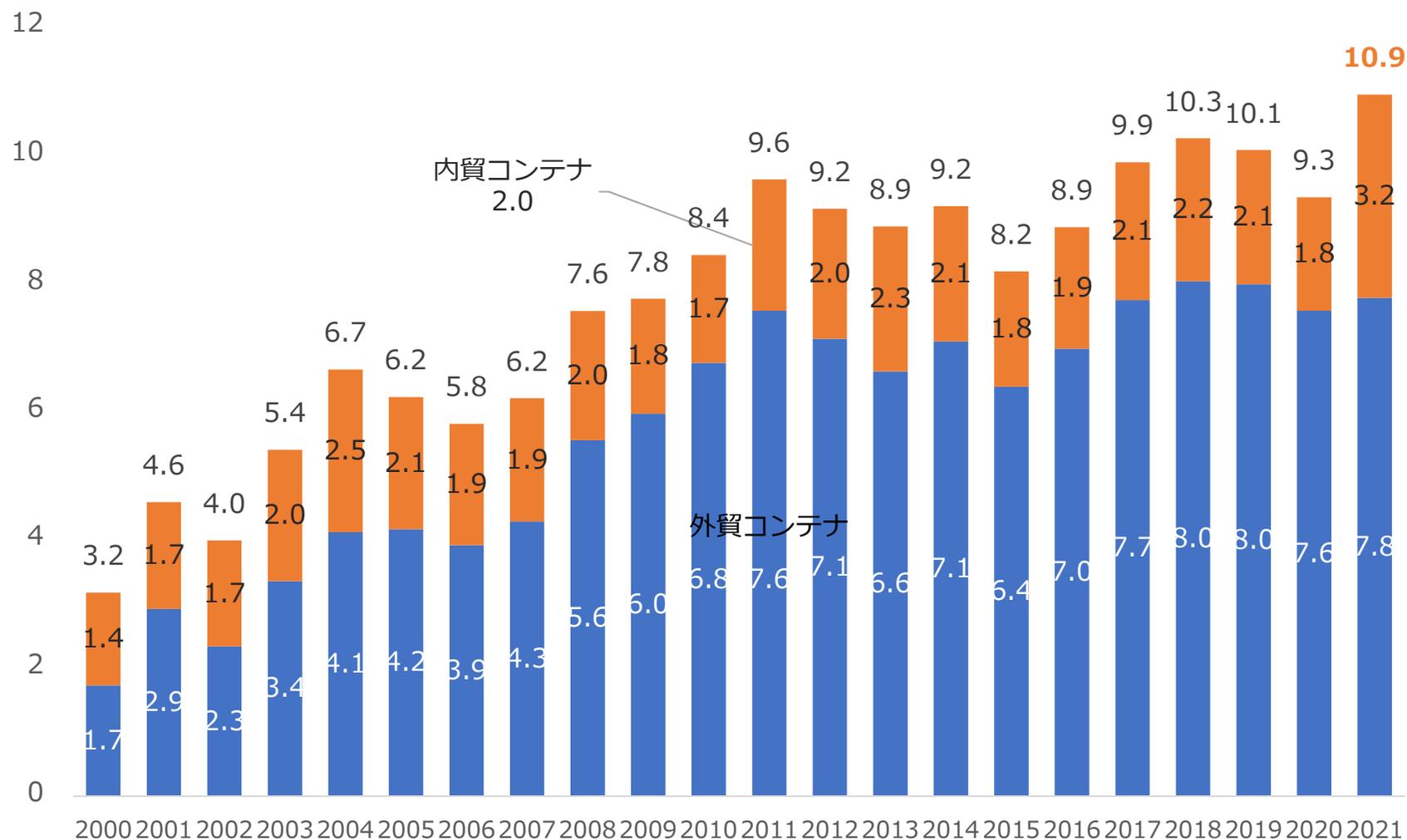
(資料) 財務省「貿易統計」

九州の飼料工場

門司港	株式会社I・フィード門司工場	
北九州港	フィード・ワン株式会社北九州畜産工場	
博多港	石橋工業株式会社福岡支店	くみあい飼料福岡工場
佐世保港		くみあい飼料長崎工場
八代港	八代飼料株式会社	くみあい飼料熊本工場
	九州昭和産業株式会社八代工場	
日出港		くみあい飼料大分工場
細島港		くみあい飼料日向工場
鹿児島港	錦江湾飼料株式会社	くみあい飼料谷山工場
	日清丸紅飼料株式会社九州支店鹿児島工場	
	株式会社日和産業鹿児島鹿児島工場	
志布志港	九州昭和産業株式会社	くみあい飼料志布志工場
	志布志飼料株式会社	
	株式会社I・フィード志布志工場	
	中部飼料株式会社志布志工場	
	日本農産工業株式会社志布志工場	

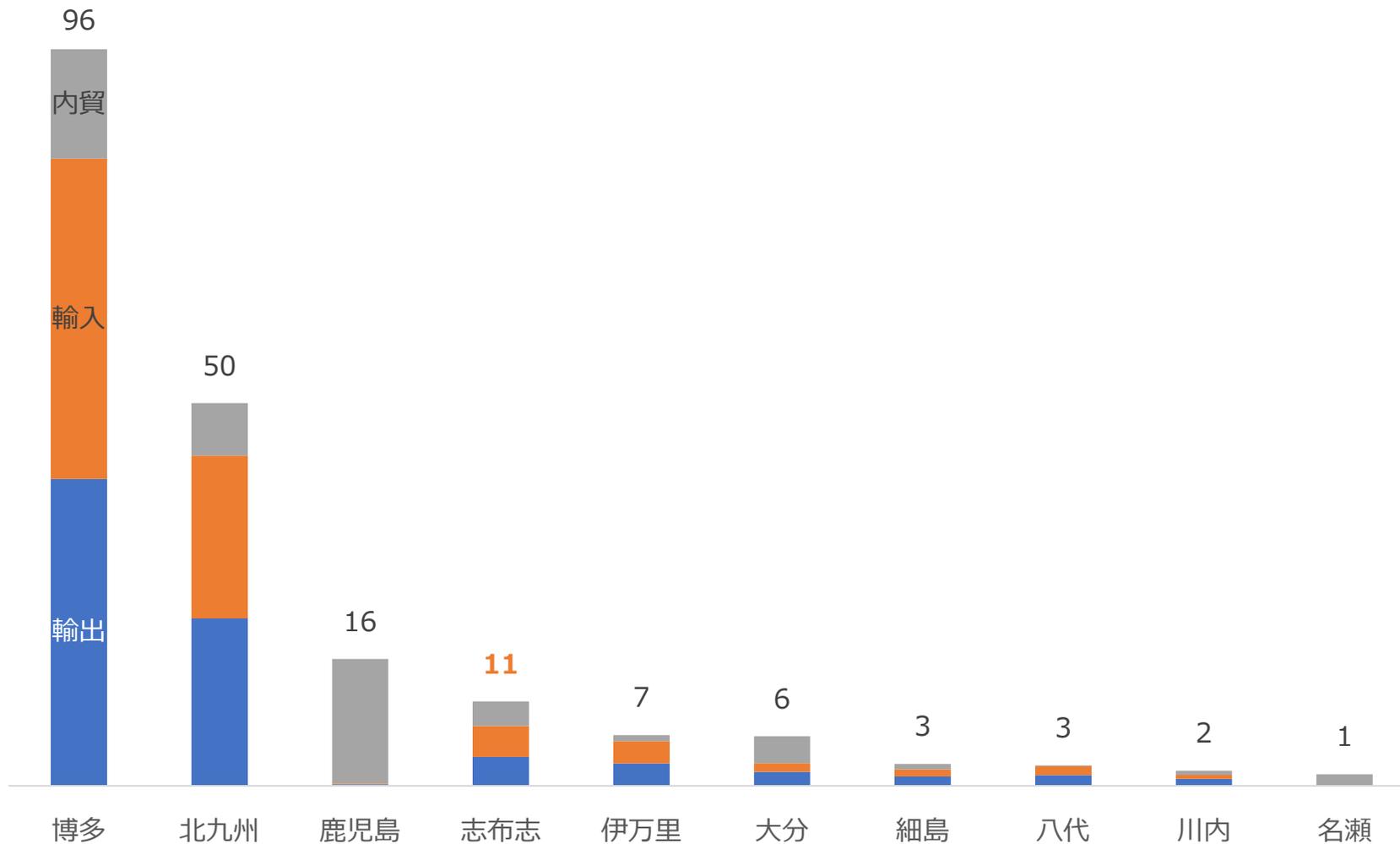
(資料) 協同組合日本飼料工業会ホームページ、ジェイエイ北九州組合飼料株式会社ホームページ、南日本くみあい飼料株式会社ホームページ

志布志港のコンテナ貨物取扱量 (万TEU)



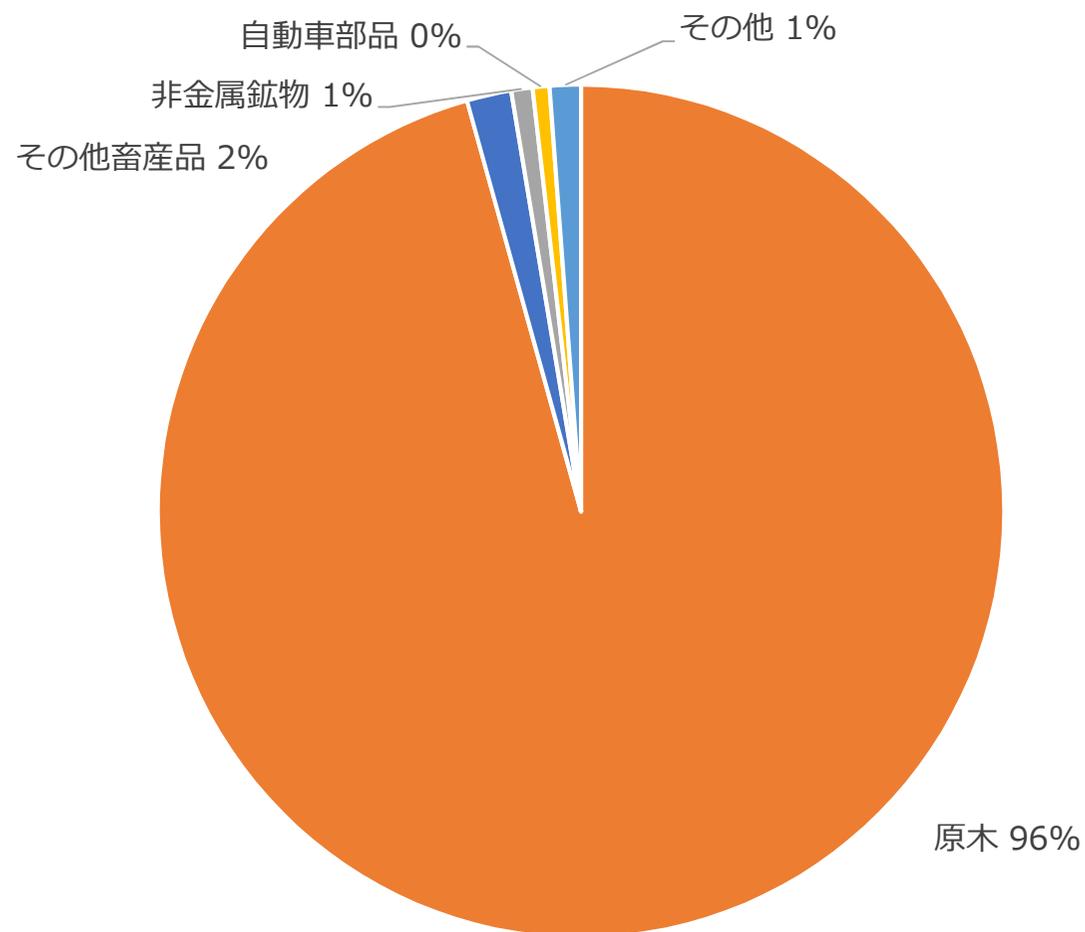
(資料) 国土交通省「港湾統計」

九州のコンテナ取扱貨物量の順位 (2021年、万TEU)



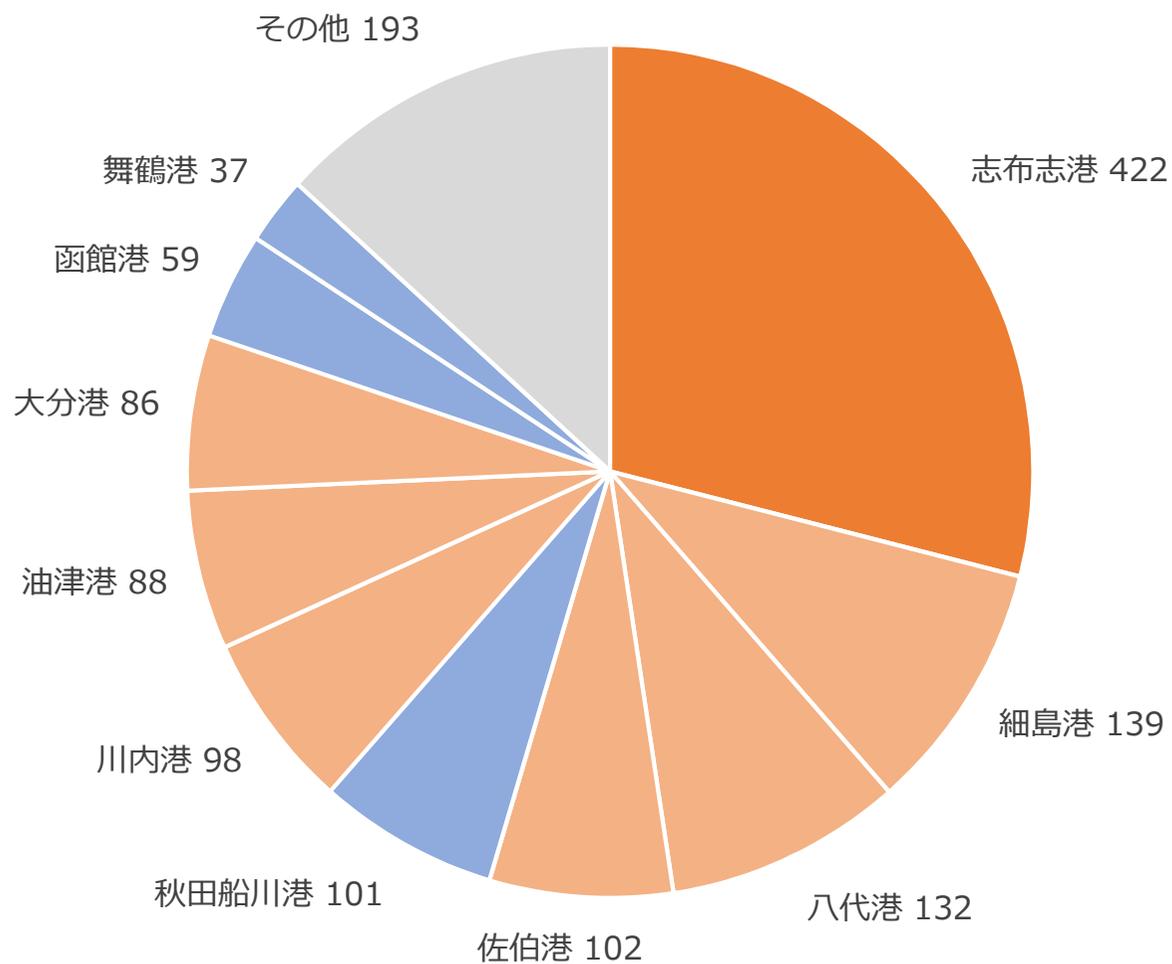
(資料) 国土交通省「港湾統計」

志布志港の輸出の数量内訳 (2021年、%)



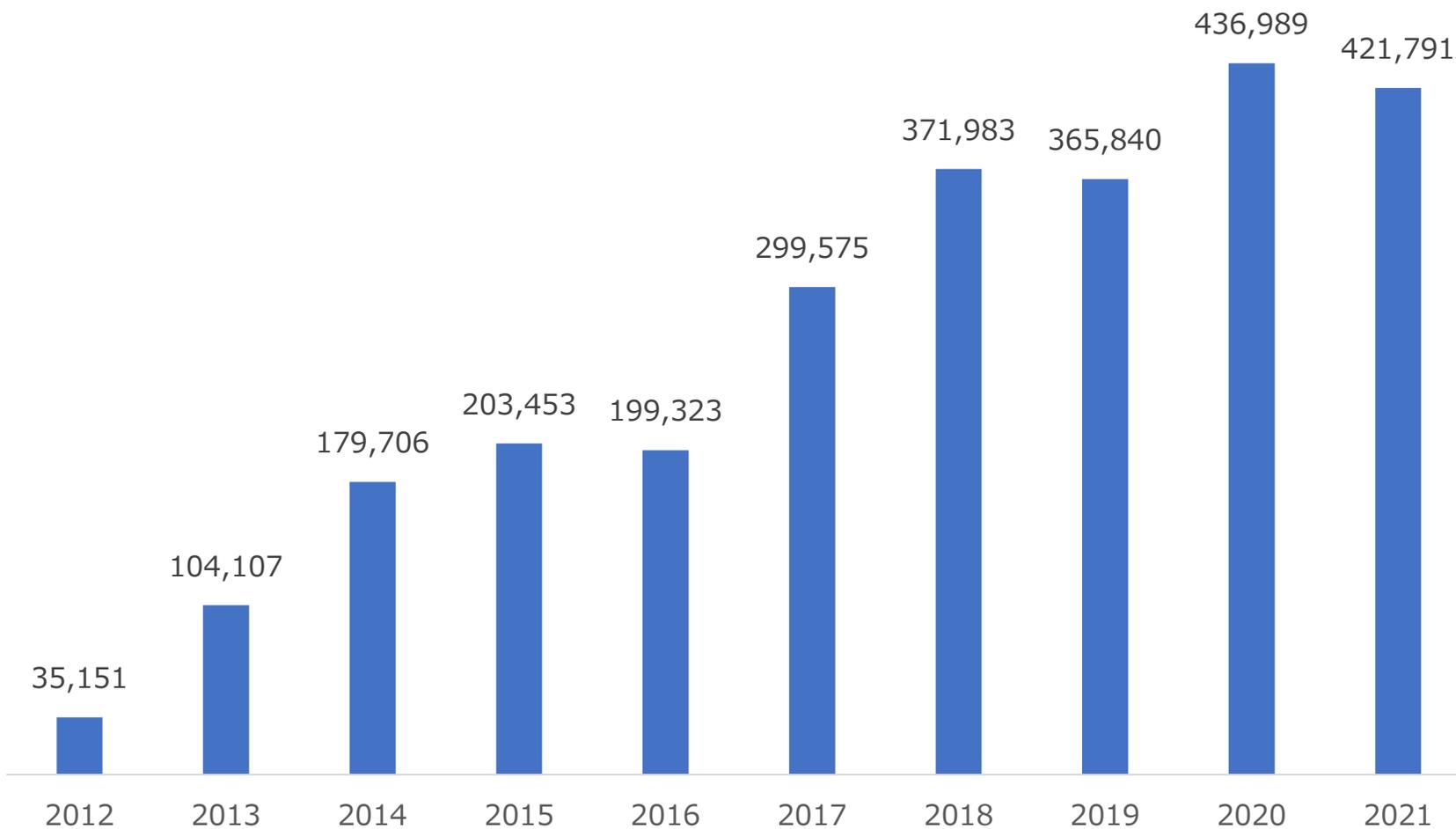
(資料) 国土交通省「港湾統計」

木材輸出量 (2021年、千m³)



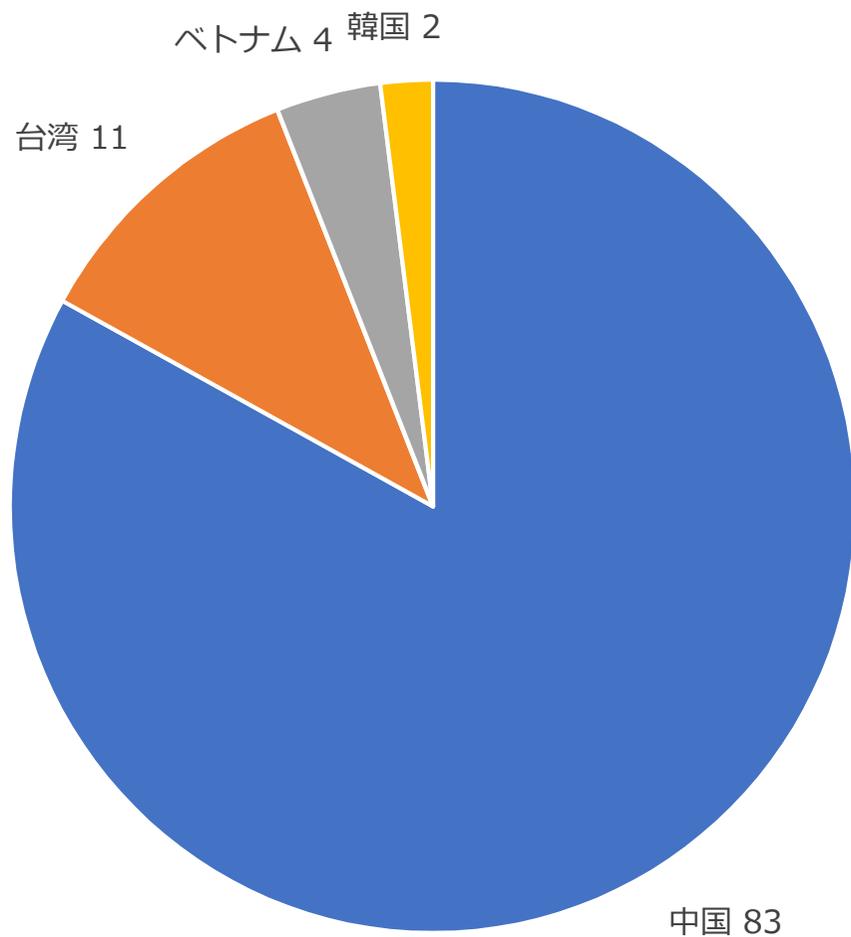
(資料) 財務省「貿易統計」

志布志港の木材輸出量 (m³)



(資料) 財務省「貿易統計」

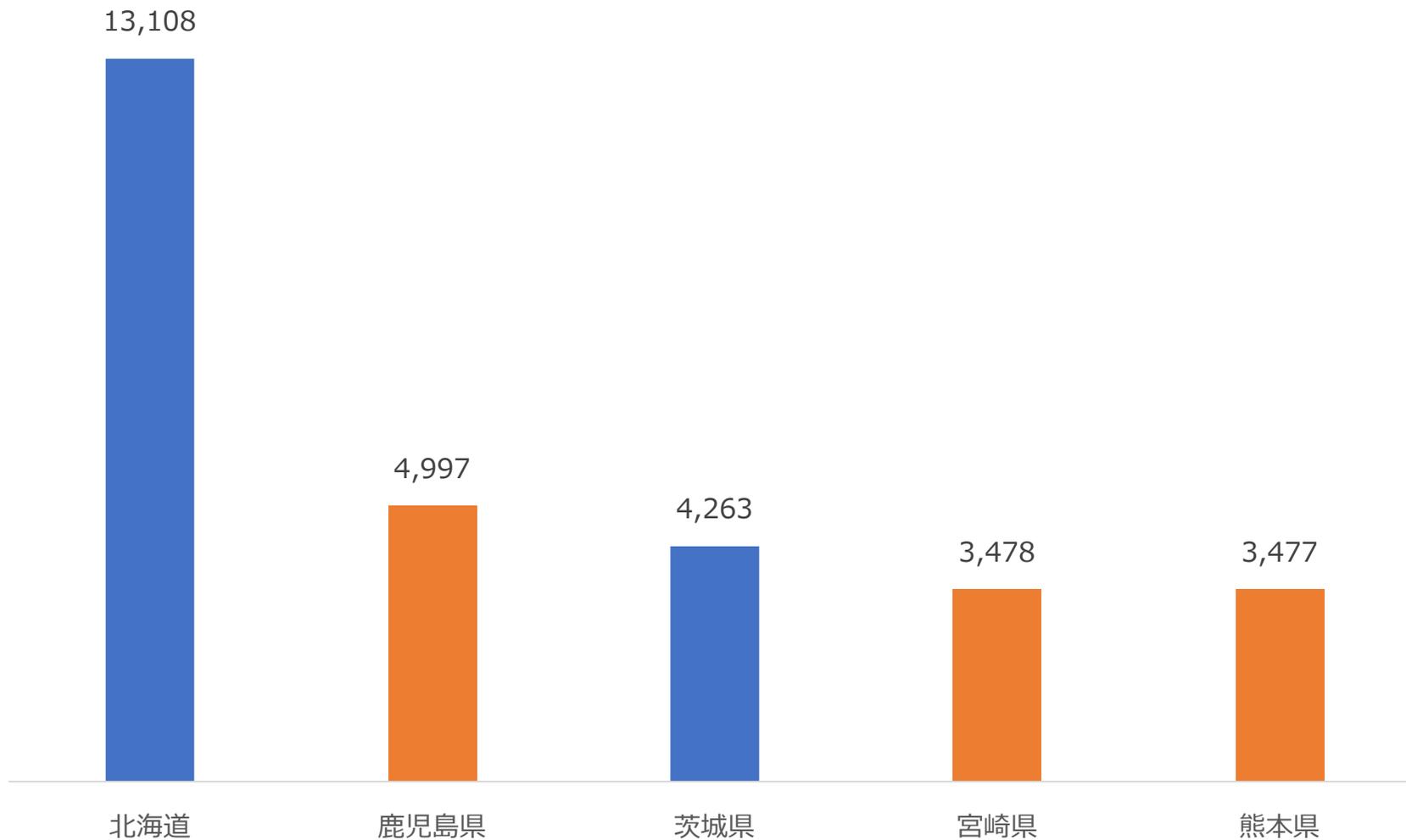
志布志港の木材輸出先割合 (2021年、%)



(資料) 財務省「貿易統計」

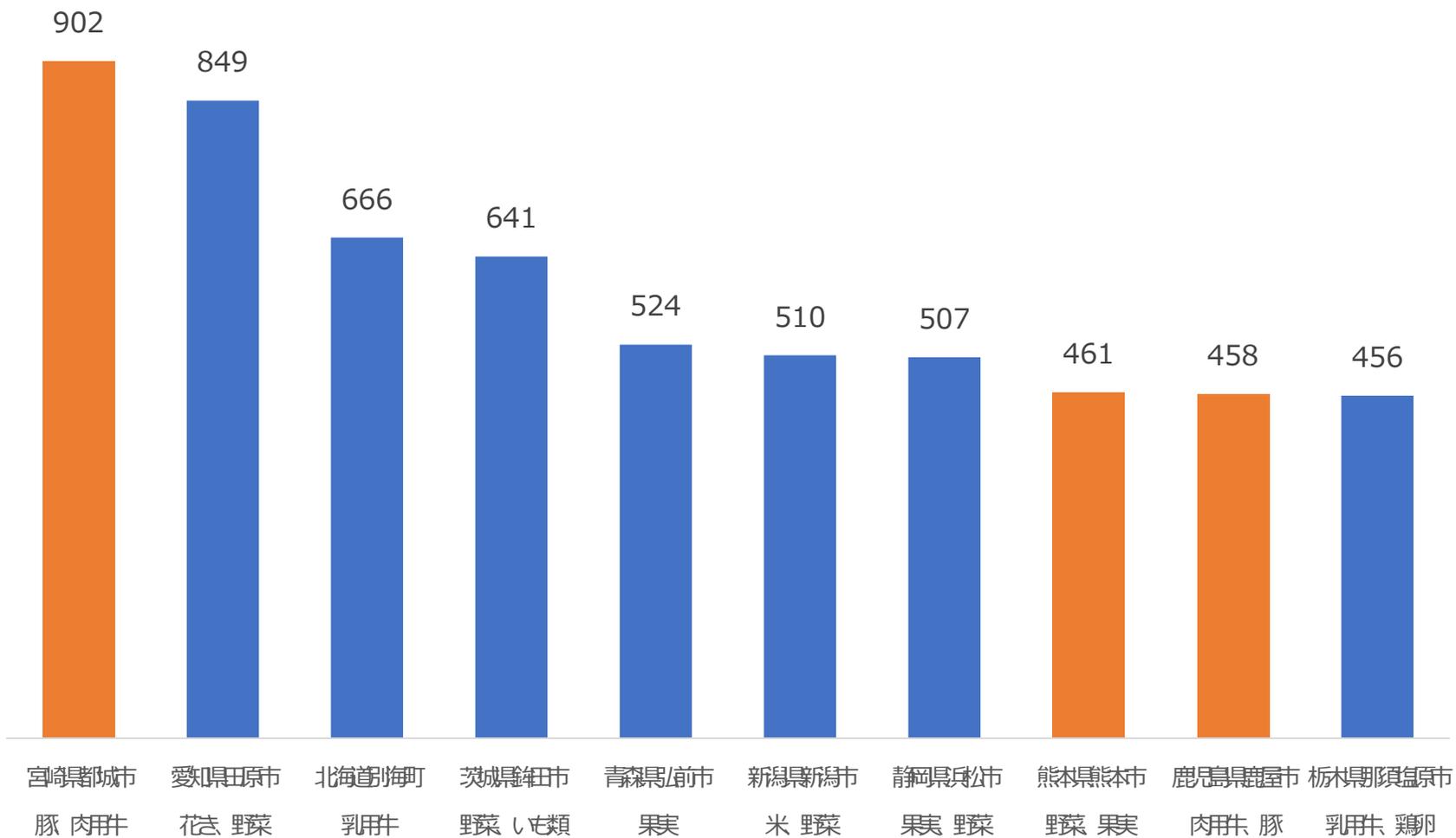
志布志港の農産物の輸出促進

上位5道県の農業産出額（2021年、億円）



(資料) 農林水産省「生産農業所得統計」

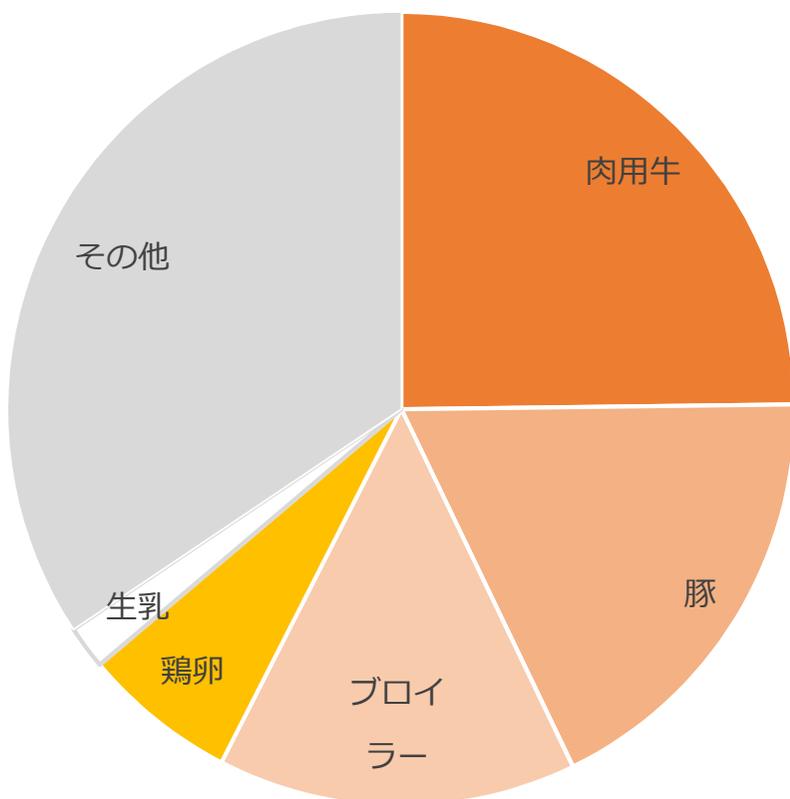
市町村別では宮崎県都城市が一番 (2021年、億円)



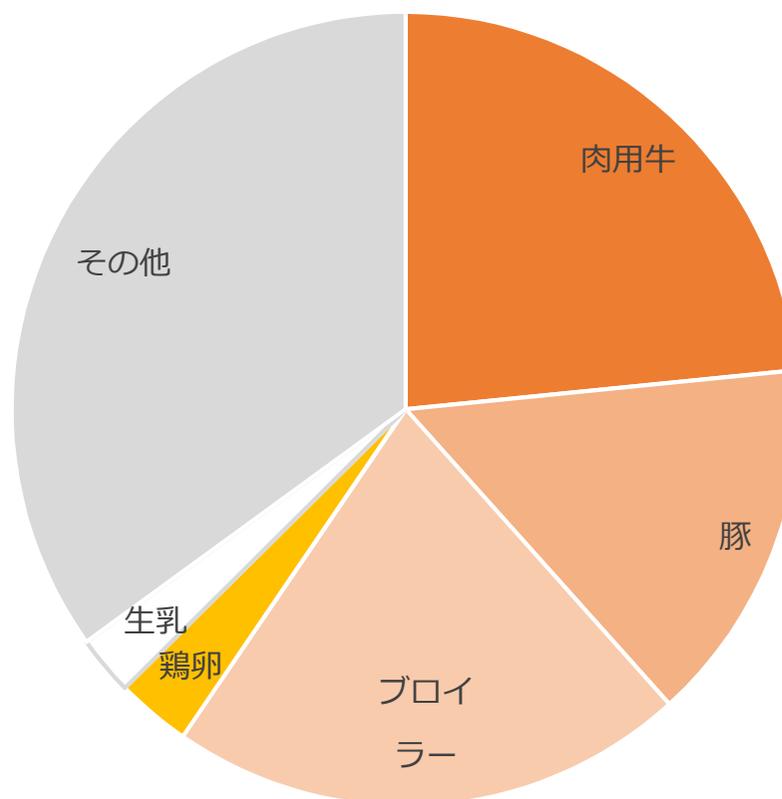
(資料) 農林水産省「市町村別農業産出額 (推計)」

鹿児島県、宮崎県の農業産出額（2021年）

鹿児島県（4,997億円）



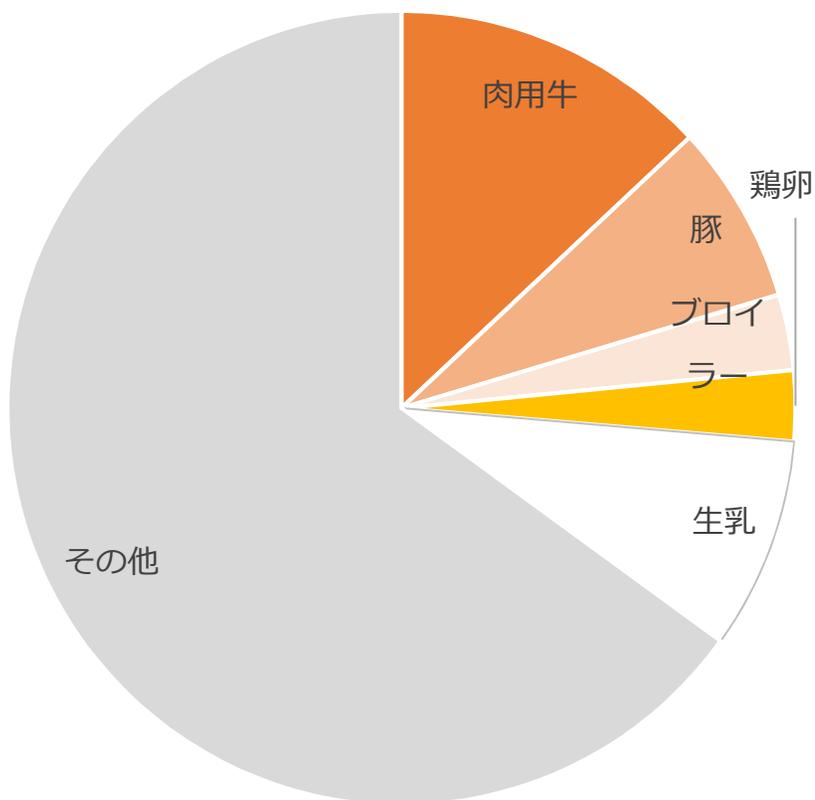
宮崎県（3,478億円）



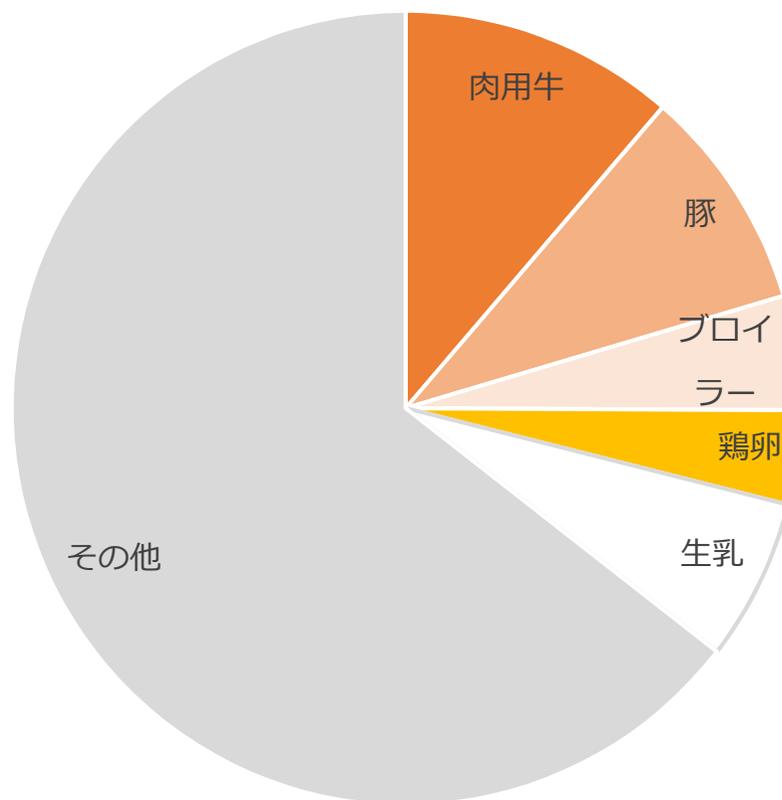
（資料）農林水産省「生産農業所得統計」

熊本県、大分県の農業産出額（2021年）

熊本県（3,477億円）

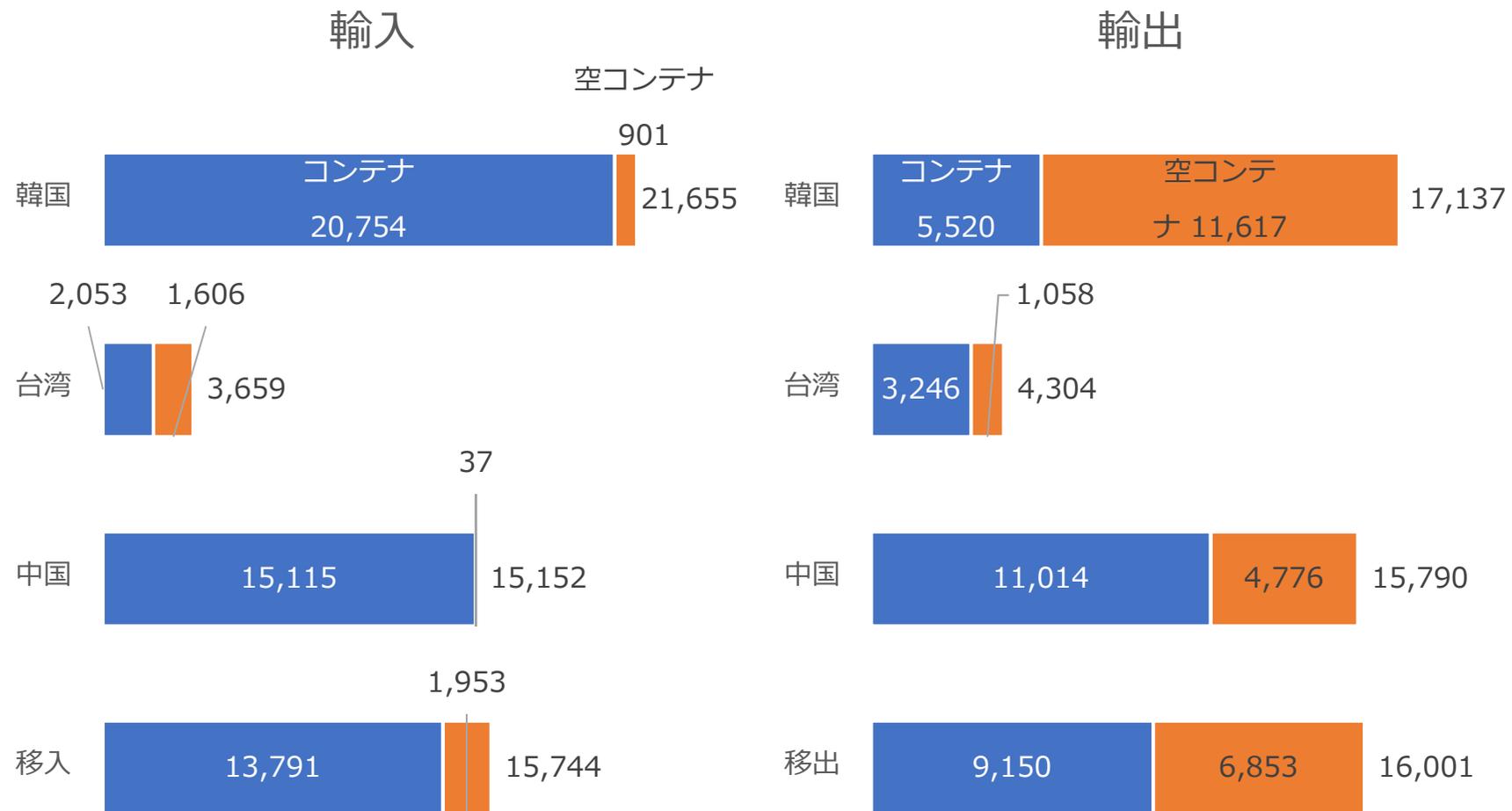


大分県（1,223億円）



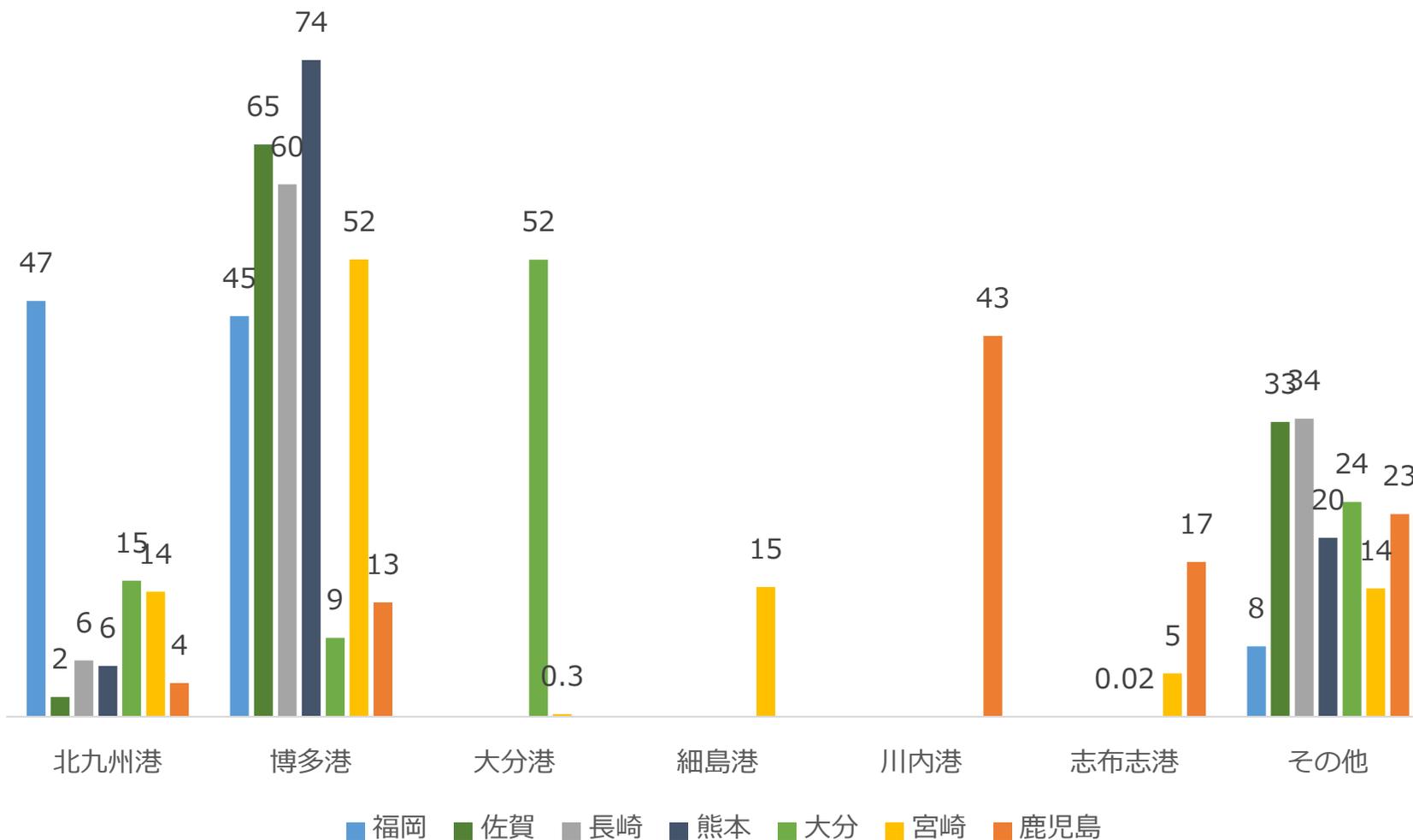
（資料）農林水産省「生産農業所得統計」

空きコンテナが多い (2021年、TEU)



(資料) 国土交通省「港湾統計」

生産地別船積港別貨物割合（輸出、2018年、%）



（資料）国土交通省「全国輸出入コンテナ貨物流動調査」

志布志港の状況

- ▶ 韓国・中国・台湾航路が主で、フィーダー路線で神戸港を経由し輸出
- ▶ 冷凍冷蔵倉庫等ハードは弱い
- ▶ 博多港へ距離約300kmと地理的ニーズはやや高い
- ▶ 品目も豊富で、生産量も高い

(資料) アクセンチュア株式会社「令和3年度 輸出物流構築緊急対策事業（輸出物流ネットワーク構築に向けた環境調査委託事業）最終報告書」

志布志港の可能性

- ▶ 南九州は野菜中心に産直混載輸出が可能な輸出産地
- ▶ **キャベツ・大根・レタス・白菜・ねぎ**等は、CAコンテナを活用したシンガポール等遠方への鮮度保持も可能
- ▶ **かんしょ**は基腐病の影響が懸念されるが、現地需要は高く、焼きいも、蒸しいもに加え、ペースト、いもけんぴ、干しいも、冷凍焼き芋等の加工品にも高い可能性

(資料) アクセンチュア株式会社「南九州からの青果物 輸出拡大のポイント」

志布志港の利便性・課題等についてのコメント

- ▶ 都城志布志道路と東九州自動車道が新設され、志布志港までの**アクセス方法が改善**（行政）
- ▶ 志布志港は**動物検疫**を受けられるタイミングが2回/週と低頻度であり、使い辛さがある（行政）
- ▶ 志布志港の**通関**が2、3回/週と頻度が少なく、スケジューリングに課題が生じる恐れがある（生産者）
- ▶ 志布志港は**抜港リスク**が高く、博多港を利用する。博多港は抜港されても、門司港や神戸港からの輸出に切り替えやすい（商社）
- ▶ 志布志港－鹿児島県内を走るトラックの仕事が少なく、**帰り便が無い**ことから料金が割高（物流）
- ▶ チャータートラックで志布志港へ産品を輸送したが、安い事業者を利用すると**遅滞**が頻発（生産者）

（資料）アクセンチュア株式会社「令和3年度 輸出物流構築緊急対策事業（輸出物流ネットワーク構築に向けた環境調査委託事業）最終報告書」

輸出物流実証結果（青果物）①

- ▶ 神戸港から輸出するより、志布志港から輸出した方が、**トータルでの物流コスト**を抑えることが出来た
 - ▶ 特に、国内輸送費（鹿児島→神戸）の削減分が大きかった
 - ▶ 生鮮食品はCAコンテナ利用が一般的だが、流通量の少ないCAコンテナは京浜港を除いてどの港も事前手配が必要であることから、海上輸送費は志布志港も他港利用も大きく変わらない
- ▶ CAコンテナの事前手配（3週間前）と海上輸送期間（3週間）を踏まえると、現地販売から6週間の**リードタイム**を持ってコンテナ手配を開始する必要がある
- ▶ 新規商品との**混載**により積載効率を向上し、既存商品だけの輸出よりも輸送単価を4%削減出来た
- ▶ トータルでの**輸送時間**も、神戸港発の場合より短く、現地着荷品質も変わらず問題無かった
- ▶ 混載による**国内輸送時間（集荷）**の増加は、全体で見ると微々たるものであった

（資料）アクセンチュア株式会社「令和3年度 輸出物流構築緊急対策事業（輸出物流ネットワーク構築に向けた環境調査委託事業）最終報告書」

輸出物流実証結果（青果物）②

- ▶ 志布志港からの輸出は、京浜港・神戸港から輸出するよりも鮮度維持がしやすい、というメリットも検証することができた
 - ▶ 志布志港は輸出産地から近く、CAコンテナ積込までの時間を短縮可能
 - ▶ 今回の新規商品と同一の品目に関しては、これまで関東産品を京浜港から輸出していたが、鹿児島県産品を志布志港から輸出した方が、鮮度の良い状態で現地に到着させることが出来た
- ▶ 段ボールの規格不統一による荷崩れリスク・冷蔵輸送に向かない段ボール規格であることが確認
- ▶ 植物検疫について、シンガポール・香港向けは、今回の輸出品目では必要なく、通関に関しても、今回の新品目では特に新しい作業は発生していない

（資料）アクセンチュア株式会社「令和3年度 輸出物流構築緊急対策事業（輸出物流ネットワーク構築に向けた環境調査委託事業）最終報告書」

志布志港の輸出促進

- ▶ 鹿児島県は、2022年10月、民間事業者や関係団体・行政機関からなる「志布志港農林水産物・食品輸出促進協議会」を設置
- ▶ 2023年5月に、鹿児島県が取りまとめた「農林水産物・食品輸出促進計画」を国土交通省港湾局長が認定
- ▶ 今後、志布志港を南九州地域の物流拠点として、効率的かつ効果的な農林水産物・食品を輸出拡大

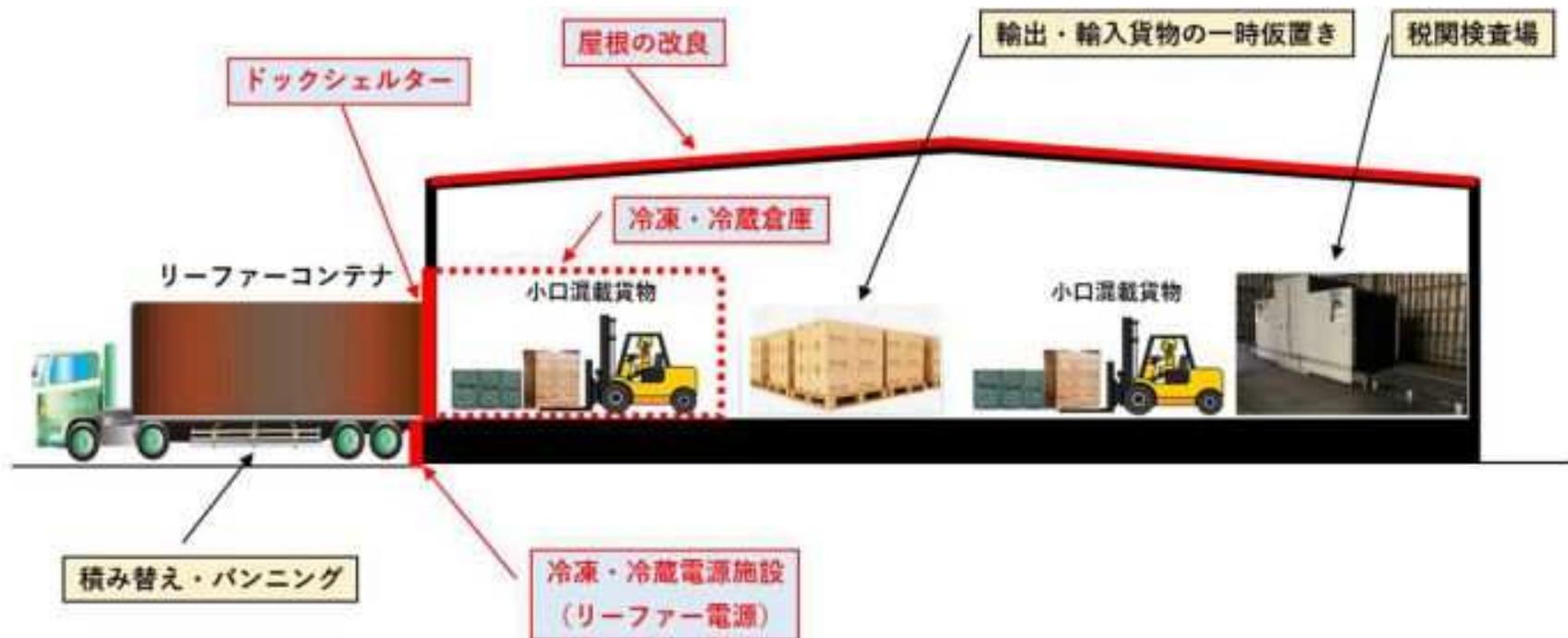
農林水産物・食品輸出計画

- ▶ 主な対象品目
 - ▶ 牛肉、豚肉、鶏肉等
 - ▶ 製材、合板等
 - ▶ 養殖ブリ、カンパチ等
 - ▶ 味噌、醤油、焼酎等
- ▶ 目標国
 - ▶ アメリカ、香港、中国、台湾等
- ▶ 輸出額目標
 - ▶ 21億円→36億円

2021年	2030年
-------	-------
- ▶ ハード整備によるワールドチェーンの確保
 - ▶ 冷凍・冷蔵施設等の整備
 - ▶ 屋根の改良（気密性の確保）
- ▶ ハード整備以外の取組
 - ▶ 港湾利用者に対する輸出費用の支援
 - ▶ 商社やバイヤーに対するセミナー、商談会の開催

(資料) 鹿児島県ホームページ

ハード整備のイメージ



(資料) 国土交通省ホームページ

S株式会社（志布志市）

- ▶ 1981年9月に設立
- ▶ 1998年に世界一厳しいと言われる米国農務省HACCPシステムを導入
- ▶ 1999年に高度衛生管理牛処理専用工場を新設
- ▶ 2002年にISO14001を取得し、2005年にISO22000を国内で最初に取得
- ▶ 42か国・地域へ牛肉輸出が可能
- ▶ 直近では、月間600頭超の和牛を輸出用として処理・加工
- ▶ 2017年度輸出に取り組む優良事業者表彰において、農林水産大臣賞を受賞

（資料）農林水産省九州農政局ホームページ

志布志港の課題

- ▶ 志布志港の航路は現在、台湾、中国、韓国への航路が就航しているが、東南アジア地域に向けての輸出は、一端他港で積み替えて輸送されている状況であるため貨物のリードタイムが長くなり、輸送コストが割高
- ▶ 東南アジア方面へのダイレクト航路が就航されれば、リードタイムが改善
- ▶ できれば、志布志港の位置的な優位性を活かして、海外港へ寄港する国内のラストポートになることで、リードタイムが向上

(資料) 九州地方整備局 小田 栄治・貞弘 行雄・木之下 天晟「志布志港における農林水産物輸出拡大方策について～空コンテナの有効活用と農林水産物を海上輸送するための支援～」

志布志港のコンテナ定期航路

- ▶ 台湾航路 週 1 便
- ▶ 韓国航路 週 6 便（2 便休止中）
- ▶ 中国航路 週 2 便
- ▶ 国際フィーダー 週 2 便（神戸港積替）
- ▶ 内貿定期航路 週 17 便（4 航路）

（資料）鹿児島県ホームページ

志布志港の定期航路

▶ 台湾航路週1便

- ▶ 基隆（月）～台中（火）～高雄（水）～那覇（金）～八代（日）～**志布志（月）**
～細島（火）～大分（火）～松山（水）～釜山（木）～八代（金）～那覇（日）
～基隆（月）

▶ 韓国航路週6便（うち2便は休止中）

- ▶ 釜山（金）～伊万里（土）～門司（日）～**志布志（月）**～川内（火）～釜山（水）
- ▶ 釜山（日）～釜山新港（日）～志布志（月）～長崎（火）～熊本（火）～川内（水）～八代（木）～伊万里（金）～釜山（土）
- ▶ 光陽（日）～釜山（月）～博多（火）～門司（火）～大分（水）～**志布志（木）**
～高知（木）～ひびき（土）～光陽（日）～釜山（日）～釜山新港（日）
- ▶ 釜山（日）～博多（月）～**志布志（火）**～細島（水）～大分（金）～門司（金）
～博多（土）～釜山（日）
- ▶ 釜山～**志布志**～広島～松山～今治～伊予三島～水島（令和4年10月より休止中）
- ▶ 釜山～**志布志**～大阪～水島～大分（令和3年6月より休止中）

（資料）鹿児島県ホームページ

志布志港の定期航路

- ▶ 中国航路週2便
 - ▶ 天津新港（火）～大連（木）～青島（金）～福山（月）～水島（月）～広島（火）～細島（火）～**志布志（水）**～寧波（金）～上海（土）※上海港でRCLの東南アジア航路と接続
 - ▶ 寧波（金）～上海（土）～伊万里（月）～福山（火）～水島（火）～広島（水）～**志布志（木）**～天津新港（火）～大連（木）～青島（金）※寧波港でRCLの東南アジア航路と接続
- ▶ 国際フェーダー航路週2便
 - ▶ 神戸（金）～**志布志（土）**～神戸（月）⇔KTX1～3、JPX
 - ▶ 神戸（金）～**志布志（土）**～神戸（月）

（資料）鹿児島県ホームページ

志布志港・川内港輸出入促進トライアル事業

- ▶ 対象者
 - ▶ 荷主企業
- ▶ 補助対象
 - ▶ 志布志港または川内港を新規に利用する事業であること
 - ※県内他港湾から志布志港または川内港への利用港湾の変更を除く
- ▶ 補助要件
 - ▶ 志布志港・川内港の輸出入強化に資する計画であること
 - ▶ 事業実施により事業実施翌年から5年以内に年間25TEU以上の取扱が見込めること
 - ▶ モーダルシフトやリスク分散、物流の効率化に資すること
- ▶ 補助限度額
 - ▶ 輸出150万円
 - ▶ 輸入75万円
- ▶ 補助率
 - ▶ 2分の1以内

(資料) 鹿児島県ホームページ

志布志港輸出入コンテナ貨物助成金

- ▶ 助成対象者
 - ▶ 日本国内に事業所を有している企業
 - ▶ 輸入については船荷証券の受荷主、輸出については船荷証券の出荷主
- ▶ 助成対象貨物
 - ▶ 志布志港新若浜地区国際コンテナターミナルを発着するコンテナ船を利用して行う輸出入コンテナ貨物（実入り）
- ▶ 助成対象外貨物
 - ▶ 志布志港食品・農林水産品輸出促進助成金の交付を受けた、又は受ける予定である食品等コンテナ貨物
 - ▶ 船荷証券1件が1TEUに満たない小口混載貨物
- ▶ 助成対象期間
 - ▶ 2023年1月1日から12月31日までの1年間
- ▶ 助成金の額、一荷主あたりの助成上限額

	助成金（円/1Teu）		助成上限額（万円/荷主）	
	輸入	輸出	輸入	輸出
新規利用	5,000	10,000	100	200
継続利用	1,000	2,000	200	300

（資料）志布志市ホームページ

志布志港食品・農林水産品輸出促進助成金

▶ 対象者

- ▶ 志布志港新若浜地区国際コンテナターミナルに発着する外貿定期コンテナ船を利用して、**食品及び農林水産品（原木を除く）**を輸出される方（船荷証券の出し荷主）

▶ 補助要件

- ▶ 日本国内に事業所を有していること
- ▶ 船荷証券（B/L）の出し荷主であること
- ▶ 輸出する貨物が食品及び農林水産品（原木を除く）であること
- ▶ 志布志港に寄港している定期コンテナ航路を利用して輸出すること

▶ 金額

- ▶ コンテナの種類に関わらず、1本につき**3万円**

（資料）志布志市ホームページ

(参考) さつまいものリレー輸出

- ▶ 卸売会社が産地を束ね、**リレー供給の実証**に取り組んだ
- ▶ 輸送コストの観点から、**40ftコンテナ単位**で出荷可能な**産地を抽出**し、産地別の出荷時期、出荷減少期を元に、計画を策定
 - ▶ 徳島県（8月）、茨城県（9-10月、12-1月）、静岡県（10-11月）、北海道11月）、千葉県（1月）
- ▶ 出荷量の多い**茨城・千葉規格を統一規格**として設定
- ▶ パレットはすべての産地で**T11パレット**を利用し、輸送は40ftコンテナ単位の大ロットで輸送
- ▶ 産地名を前面に出さず、**「日本産」を強調**した統一デザイン

(資料) 野村総合研究所「令和3年度補正「品目団体輸出力強化緊急支援事業」大規模かんしょ輸出確立実証事業」

参考文献

- ▶ 農林水産省・国土交通省・鹿児島県・志布志市ホームページ
- ▶ ECUワールドワイド株式会社顧問 富高四郎「志布志港での取り組み」
- ▶ 九州地方整備局 小田栄治・貞弘行雄・木之下天晟「志布志港における農林水産物輸出拡大方策について～空コンテナの有効活用と農林水産物を海上輸送するための支援～」
- ▶ アクセンチュア株式会社小栗史也「南九州からの青果物輸出拡大のポイント」
- ▶ 野村総合研究所「令和3年度補正「品目団体輸出力強化緊急支援事業」大規模かんしょ輸出確立実証事業」